

Whitepaper version 1.9

October 30, 2017



Providing liquidity  
to the non-LIQUID  
Crypto Economy

**QUOINE Pte. Ltd.**

liquid.plus

# QUOINEの指針:

金融サービスが、一部の特権階級の人だけでなく、すべての人に公平に利用され、メリットを享受できる世界を信じます

仮想通貨こそが、そのような世界を作り上げる礎であり、我々のミッションは金融の新たな本流となる仮想通貨に必要なプロダクトとサービスを提供することです

**金融の未来は分散化・非中央集権化であり**

**金融の民主化は既に始まっている**

**すべて力は人々の下に**

— QUOINEチームより

私はビットコインの大ファンである…貨幣供給の規制から政治的要素は取り除かれるべきだ。

**- アル・ゴア、元米国副大統領・ノーベル平和賞受賞者**

インターネットは政府の役割を縮小する原動力の一つになるだろう。一つ欠けており、しかし間もなく開発されるであろうものは、信頼できる電子通貨だ。

**- ミルトン・フリードマン、ノーベル経済学賞受賞者**

ビットコインは技術的偉業である。

**- ビル・ゲイツ、マイクロソフト共同創設者**

情報に通じたすべての人がビットコインについて知るべきだ。世界で最も重要な成果の一つかもしれないのだから。

**- レオン・ロウ、ノーベル平和賞受賞候補者**

## GENERAL INFORMATION

本ホワイトペーパーは、QUOINE LIQUID TOKEN (QASH) の初回の販売について記載しています。本ホワイトペーパーで説明されるとおり、QASHは、LIQUID プラットフォーム及びQUOINE の既存プラットフォームで提供されるすべてのサービスに使用されるよう設計された仮想通貨です。QASHは、他の企業が提供するその他のサービスに対して支払いを行うクリプト・トークンとしてもご使用いただけます。QUOINEは原則として、QASHの使用又はその事業にQASHの使用を希望する企業の種類を限定しません。

QASHは、いずれの法域においても有価証券の性質を有するものではありません。本ホワイトペーパーは、投資を勧誘するものではなく、いずれの法域においても決して有価証券の募集には該当しません。

QASH の購入はすべて確定的なものであり、返金不可である点にご留意ください。

個人、企業その他の組織はQASH購入のリスク、費用及び利益について慎重に考察しなければなりません。

### 購入者の制限

QASHもしくはそれに類するクリプト・トークンの購入を禁じられる可能性がある、もしくはトークンセールが適用法令に適合するとみなされない可能性がある国又は州の国民又は(税務上その他の)居住者は、トークンセールを通じてQASHを購入する権限を有しておらず、購入することはできません。特に、中華人民共和国の居住者は、トークンセールを通じてQASHを購入することができません。

QASHの購入は、クリプト・トークン及びブロックチェーンに基づくソフトウェアシステムに関する豊富な経験、並びにその使用及び複雑さについての知識を有する個人、事業体又は企業によってのみ行われるものとします。QASHの購入者は、その他のクリプト・トークンに関する保管及び送信メカニズムについての機能を理解していかなければなりません。QUOINEの各企業並びにその役員及び従業員は、購入者による行為もしくは不作為に起因するクリプト・トークン、QASH又は法定通貨の紛失に対し一切責任を負いません。購入者が必要とされる経験もしくは専門知識を有しない場合、かかる者はQASHを購入すべきではなく、QASHのセールに参加すべきではありません。

QASHを購入する際は、QASH購入のリスク、費用及びその他一切のデメリットを慎重に検討し、必要に応じて、この点について独自のアドバイスを得るべきです。QASHのトークンセールに関わるリスク (LIQUID プラットフォームの開発に関するリスクを含む。) もしくは本ホワイトペーパーに記載されるその他一切のリスクについて承諾又は理解する立場にない者は、必要な独自のアドバイスを受けるまではQASHを購入するべきではありません。

### リスク

QASHの購入には、重大なリスクを伴います。QASHの購入前に、購入者は以下に列挙されたリスクについて慎重に検討し、QASH購入を決定する前に、必要な範囲において弁護士、会計士及び/又は税務の専門家に相談すべきです。

- (a) QASHはウォレットに保管され、ウォレットには購入者が選択したパスワードを入力しないとアクセスできません。QASHの購入者がそのパスワードの正確な記録を保管しなければ、QASHの紛失につながるおそれがあります。購入者のパスワード保護が脆弱で、他の者に解読された又は知られた場合も、QASHの紛失につながるおそれがあります。そのため、購入者は、主要な使用場所とは異なる複数のバックアップ箇所に自分のパスワードを安全に保管しなければなりません。
- (b) 購入者は、LIQUID プラットフォームにおけるいくつかのサービスは現在開発中であり、サービス開始までの間に大幅な変更が生じる可能性があることを認識しています。購入者は、LIQUID プラットフォームの形式及び機能に関する期待は、様々な理由により満たされない可能性があることを理解しています。
- (c) 購入者は、QUOINEはLIQUID プラットフォームを主要な大多数の仮想通貨取引所と接続すべく最善の努力を払うものの、LIQUID プラットフォームとの接続を拒否する取引所がある可能性もあり、その結果、LIQUID プラットフォームを通じて提供される流動性が本ホワイトペーパーで予測されるより低くなる可能性があることを理解しています。
- (d) 購入者は、QUOINEは期日通りにLIQUID プラットフォームのサービスを開始すべく最善の努力を払うものの、公式リリースの時期が遅れる可能性があることを理解しています。

(e) 他のクリプト・トークンと同様に、QASHの価値は大幅に変動することがあり、また、様々な理由により価値が低減する可能性もあります。この理由としては、需要と供給、全体的なクリプト・トークンの市況、政治的・地理的事情、いざれかの法域における規制の変更及び技術的理由などが含まれます。

(f) QASHはイーサリアム・ブロックチェーンにおいて発行されます。したがって、イーサリアム・プロトコルの故障又は想定外の作用によって、QASHを転送し又は安全に保管する購入者の能力に影響する場合があります。かかる影響は、QASHの価値にマイナスの影響を与える可能性があります。

#### 免責事項

適用される法律、規制及び規則に基づいて許容される最大限の範囲において、QASH、QUOINEの各企業並びにその役員及び従業員は、購入者が本ホワイトペーパー全体もしくはその一部を了承し、もしくはそれらを信頼したことによる起因又は関連して生ずる間接損失、特別損失、偶発的損失、派生的損失その他あらゆる種類の損失について（収益、収入もしくは利益の損失及び使用不能損失もしくはデータの損失などを含みます。）、それが不法行為、契約又はその他のいざれに基づくかにかかわらず、責任を負いません。

QUOINEの各企業、その役員及び従業員は、購入者によるQASHの紛失が、購入者が当該購入者のパスワードの正確な記録の保持又はバックアップを怠ったこと、購入者のパスワードの管理の不備により他者にパスワード解析されたことなどを含むいかなる理由によるものであっても、QASHが購入者に移転した後の購入者による当該QASHの紛失について、責任を負いません。

QUOINE は、LIQUID プラットフォームの運用開始及び開発に最善を尽くします。しかし、QASHを購入しようとする者は、QUOINE が LIQUID プラットフォームのサービス開始について何ら保証するものではないことを認識し、理解しています。また、QASHを購入しようとする者は、QASHを使用できないことに起因又は関連して生ずる一切の損失又は損害に対しQUOINE（その各企業及び従業員を含みます。）が責任や義務を一切負わないことを認識し、理解しています。

規制当局は、世界中のクリプト・トークンに関わる事業及び活動に対し、慎重な精査を行っています。これに関連して、規制措置、調査又は決定がQUOINEの事業に影響を及ぼす場合があり、その運営の展開を将来的に制限し又は妨げる可能性があります。QASHを購入する者は、いざれかの地域において適用される法令による新たな規制要件及び遵守要件によって、QUOINEのビジネスモデルもしくはLIQUID プラットフォーム及び既存のプラットフォームが変更され、又はこれらについて修正が必要となる場合があることを認識しなければなりません。その場合、購入者及びQASHを購入しようとする者は、QUOINEやその関係会社がかかる変更に起因する直接的もしくは間接的な損失又は損害に対し責任を問われないことを認識し、理解しています。

本ホワイトペーパー及びQUOINE及びその役員及び従業員によるその他の資料もしくは説明は、投資の勧誘ではなく、また、そのようにみなされるべきものではありません。これらは、いざれの法域においても有価証券の募集には当たらず、又は有価証券の募集に関連するものではなく、そのようにみなされるべきものではありません。本ホワイトペーパーは、提案とみなされ又は投資判断の根拠として使われる可能性のある情報もしくは表示を一切記載しておらず、含んでいません。

QUOINE並びにその役員及び従業員は、一切の法的、税務上又は金融上の問題に関するアドバイザーとはならず、そのようにみなされるべきではありません。

QASHを取得しても、購入者がQUOINEの組織やガバナンスについて何らかの権利又は影響力を得るものではありません。

#### 表明及び保証の否認

QUOINEは、他の事業体又は他の者に対して、本ホワイトペーパーに記載された情報の真実性、正確性及び完全性に関する表明、保証又は約束を含む、いかなる種類の表明、保証又は約束を行わず、行うことを見越しておらず、またかかる表明、保証又は約束をすることを否認します。

#### 購入者の表明及び保証

QASHのトークンセールに参加することにより、購入者はQUOINEに対し以下の事項を表明し保証するものとします。

- (a) 購入者は、購入者が居住する地域で適用される法律に従って、QASHを購入する権限及び全面的な能力を有します。
- (b) 購入者は、QASHの購入が購入者にとって適切か否かを決定する責任を購入者自身で負います。
- (c) 購入者はQASHの購入又はトーケンセールへの参加を希望するその他の者又は組織の代理として行為していません。
- (d) 購入者は、QASH購入のリスク、費用及びその他一切のデメリットを慎重に検討し、QASH及びトーケンセールに伴うかかるリスク、費用及びその他一切のデメリットを理解しました。
- (e) 購入者は、投機的な投資を目的として行為していません。
- (f) 購入者は、QASHが購入者の法域におけるいかなる形式の有価証券にも当たらないことについて同意し、認識しています。
- (g) 購入者は、本ホワイトペーパーがいかなる種類の目論見書又は公開買付文書にも当たるものではなく、購入者の地域における有価証券の募集又は有価証券投資の勧誘となることを意図するものでもないことについて同意し、認識しています。
- (h) 購入者は、本ホワイトペーパーに記載された情報を規制当局が審査又は承認しておらず、いずれかの法域における法律、規制要件もしくは規則に基づきかかる審査又は承認は行われておらず、行われる予定はなく、また本ホワイトペーパーが購入者に公表、配布又は流布されたとしても、それが適用法律、規制要件又は規則の遵守を意味するものではないことにつき同意し、認識しています。
- (i) 購入者は、本ホワイトペーパー、QASHのトーケンセールの実施及び／もしくは完了、又は将来的な仮想通貨取引所におけるQASHの取引が、QUOINE又はQASHの価値を意味するものとして解釈、判断され又はそのようにみなされるべきではないことにつき同意し、認識しています。
- (j) 本ホワイトペーパー全体もしくはその一部、もしくは本ホワイトペーパーの写しが配布もしくは普及されること、又は購入者がそれらについて了承することは、購入者の地域における法律、規制もしくは規則により禁止又は制限されておらず、また、所有に関する制限が適用される場合は、購入者が自らの費用負担により、QUOINEに何ら責任を負わせることなく、かかる一切の制限に従い、それを遵守しています。
- (k) QASHの購入を希望する場合、購入者は、QASHが以下のいずれにも分類されず、取り扱われないことにつき同意し、認識しています。
- (i) 仮想通貨以外のあらゆる種類の通貨
  - (ii) QUOINE が発行する社債、株式又は株券
  - (iii) かかる社債、株式もしくは株券に関する権利、オプション又はデリバティブ
  - (iv) 利益の確保もしくは損失の回避を目的もしくは建前上の目的とするCDF契約その他の契約に基づく権利
  - (v) 集団投資スキームの持分
  - (vi) 事業信託の持分
  - (vii) 事業信託の持分のデリバティブ
  - (viii) その他一切の有価証券もしくは有価証券の種類
- (l) 購入者は、仮想通貨、ブロックチェーンに基づくソフトウェアシステム、仮想通貨ウォレットもしくはその他の関連するトーケン保管メカニズム、ブロックチェーン技術及びスマートコントラクト技術の運用、機能、使用、保管、送信メカニズム及びその他の重要な特質について、十分理解しています。
- (m) 購入者は、QASHの購入を希望する場合、QUOINE 並びにその事業及び運営に伴うリスクがあることを十分に認識し、理解しています。
- (n) 購入者は、購入者が本ホワイトペーパー全体もしくはその一部を了承し、又はそれらを信頼したことに起因又は関連して生ずる間接損失、特別損失、偶発的損失、派生的損失その他あらゆる種類の損失について（収益、収入もしくは利益の損失

及び使用不能損失もしくはデータの損失などを含みます。)、それが不法行為、契約又はその他のいずれに基づくかにかかわらず、QUOINEが責任を負わないことに同意し、認識しています。

(o) 購入者は、トーケンセールをマネーロンダリング及びテロ資金供与などを含むいかなる不法な行為にも利用しません。

(p) 本ホワイトペーパー全体又は(場合により)その一部を購入者が入手し、及び/又はそれらを所有することを認めた時点より、上記の表明及び保証は、すべて真正、完全、正確かつ誤解を生じないものです。

#### トーケンセールの詳細情報の更新

QUOINE は、その裁量において、セールの期間中いつでも、LIQUIDウェブサイトに修正点を掲載することにより、本ホワイトペーパー及び取引条件について変更、修正、追加又はその一部の削除を行う権利を有します。購入者は、QASHを購入することで、かかる変更を承諾したものとみなされます。購入者は、いずれかの時点において、購入者がその時点で最新の本ホワイトペーパー及び取引条件について同意しない場合は、QASHを購入すべきではありません。

#### 市場及び業界に関する情報

本ホワイトペーパーには、内部調査、報告書及び研究、並びに必要に応じて市場調査、一般に公表されている情報及び業界誌から得られた市場及び業界に関する情報及び予測が含まれます。こうした調査、報告書、研究、市場調査、一般に公表されている情報及び出版物には、一般的に、それらに記載されている情報は信頼されると考えられる情報源から得ているものの、かかる情報の正確性又は完全性は保証されないことが記載されています。QUOINEは、第三者の情報源から抽出した情報について独立した審査の実施、かかる情報の正確性もしくは完全性の実証、又はそれが依拠する経済見通しの確認を行っておりません。そのため、QUOINEの各企業並びにその役員及び従業員は、かかる情報の正確性もしくは完全性に関して何ら表明又は保証を行わず、かかる情報の更新情報を提供する義務を負うものではありません。

## **DEFINITIONS**

「自動取引戦略」とは、Section 3.3.2で規定される意味です。

「基準通貨」とは、購入され又は販売される通貨を意味します（例えば、ビットコインやイーサリアムなど）。

「クロスカレンシー換算エンジン(CCCE)」とは、ほぼ即時に、自動で行われるクロスカレンシー換算ができるLIQUIDプラットフォームのコアエンジンをいいます。

「仮想／法定通貨のクレジット・ファシリティー」とは、Section 3.2.3で規定される意味です。

「クリプト・レンディング」とは、クリプト・トークンの貸付けをいいます。法定通貨における貸付けと同様に、多数のクリプト・トークンを保有している者は、手数料を取る目的でその保有するクリプト・トークンを貸し付けることができます。

「クリプト・トークン」とは、仮想通貨又は販売される分散型レジスター・ベースのトークンをいいます。

「ダイレクト・マーケット・アクセス」とは、Section 3.2.1で規定される意味です。

「外部集約オーダーブック」とは、Section 3.1.1で規定される意味です。

「法定通貨管理」とは、Section 3.2.2 で規定される意味です。

「内部オーダーブック」とは、Section 3.1.1で規定される意味です。

「LIQUIDプラットフォーム」とは、Section 3で規定される意味です。

「流動性サイロ」とは、ある取引所におけるある通貨ペアの流動性が他の流動性に容易にアクセスできないために生じる流動性のポケット

をいいます。

「マッチング・エンジン (ME)」とはSection 3.1.2で規定される意味で

「プライム・ブローカレッジ」とは、Section 3.2で規定される意味です。

「QASH」とは、QUOINE LIQUIDトークンの名称であり、Section 4.1で規定される意味です。  
「QRYPHTOS」とは、QUOINEの仮想通貨のみの取引所です。QUOINEは全てのトークン発行者のために、初回のクリプト・トークン、セカンドグリー取引いずれにも利用できる自動的なセルフ・サービングのプラットフォームとして、そのプラットフォームを開設します。（[www.qryptos.com](http://www.qryptos.com)）

「**QUOINE**」とは、総称して又は個別に、**QUOINE 株式会社**（日本法に基づき設立された会社）及びその関連会社（シンガポール法に基づき設立された**QUOINE Pte. Ltd.**を含むが、それに限られない）を意味します。**QUOINE**はフィンテック業界における世界的なリーディング企業であり、日本、シンガポール、ベトナム及びフィリピンにオフィスを設け、ブロックチェーン技術を駆使した取引、交換及び次世代の金融サービスを提供しています。

「QUOINEX」は、QUOINEが提供するフラグシップ・プロダクトです。世界中における最大の仮想通貨と法定通貨との取引所の一つであり、日本法によって規制されています。（[www.quoinex.com](http://www.quoinex.com)）

「建値通貨」とは、基準通貨について値段を付けるために用いられる通貨、又はかかる値段を見積もるために用いられる通貨をいいます（例ラバ（USDドルやユーロなど））

「リアルタイム報告」とは、Section 3.2.4で規定される意味です。

「スマート・オーダー・リーティング(SOR)」とは、Section 312で規定される意味です。

「システム・コロケーション」とは、Section 3.3.1で想定される意味です。

「非流動的な市場」とは、クリプト・トークンの流動性をサポートするには足りない、小さな市場をいいます。

「ワールドブック」とは、Section 31で規定される意味です

<b>1. サマリー</b>	<b>9</b>
<b>2. 背景</b>	<b>11</b>
<b>3. QUOINE LIQUID プラットフォーム</b>	<b>14</b>
3.1 ワールドブック	17
3.1.1 マルチマーケット・オーダーブック	17
3.1.2 アーキテクチャー	19
3.2 プライム・ブローカレッジ	23
3.2.1 ダイレクト・マーケット・アクセス	23
3.2.2 法定通貨管理	24
3.2.3 仮想／法定通貨のクレジット	25
3.2.4 リアルタイム報告	25
3.3 その他のサービス	26
3.3.1 システム・コロケーション	26
3.3.2 自動取引戦略	26
3.3.3 取引ツール	27
<b>4. QASHトーカンセール</b>	<b>28</b>
4.1 トーカンの概要	29
4.1.1 トーカンの有用性	30
4.1.2 取引可能上場資産	30
4.1.3 保有者の独占的利益	30
4.2 トーカンの販売条件概要	31
4.3 トーカンセール・プロセス	32
4.4 資金使途	35
4.5 QASHブロックチェーン	36
<b>5. 利益を享受する者</b>	<b>37</b>
5.1 個人トレーダーおよび機関トレーダー	38
5.2 トーカン発行者	40
5.3 トーカン保有者	41
5.4 金融サービスの革新者および社会全体	41
<b>6. QUOINEの競争優位性</b>	<b>43</b>
6.1 国際レベルのチーム	44
6.2 プロダクトの準備	44
6.3 取引所および銀行との関係性	46
6.4 日本での規制対象	46
6.5 コンプライアンスおよびセキュリティ	46
6.6 QUOINEとの独占的提携 (QUOINEX, QRYPHTOS)	49
<b>7. 競争状況</b>	<b>51</b>
<b>8. ロードマップ</b>	<b>52</b>
<b>9. 当社について</b>	<b>54</b>
9.1 概要	54
9.2 Leadership	55
<b>10. 取締役、エンジェル投資家及び、株主</b>	<b>64</b>
<b>11. QUOINE LIQUIDコミュニティに参加しましょう</b>	<b>68</b>
<b>12. 参考情報</b>	<b>70</b>
12.1 QUOINEの企業概要	71
12.2 QUOINEの連絡先	72

01

サマリー

**QUOINE LIQUID** プラットフォームは、世界中の流動性を集約した単一の取引プラットフォーム（ワールドブック）と、これに付帯する一連のサービス（プライム・プローカレッジ）で構成されています。これらが一体となって世界で最高水準の流動性を提供し、新たなクリプト経済が提供する機会や富に誰もがアクセスできるようになります。

**LIQUID** プラットフォームのワールドブックは、QUOINEの既存のマッチング・エンジン、スマート・オーダー・ルーティング、およびクロスカレンシー換算エンジンの技術を用いて構築されています。これはトレーダーにとっては究極のリソースすなわち、世界中の仮想通貨市場の流動性を集約し、ユーザーが選択するあらゆる通貨で利用可能な、きわめて流動性の高い単一のオーダーブックとなります。

LIQUID プラットフォームのプライム・プローカレッジは、ダイレクト・マーケット・アクセス（DMA）、法定通貨の管理、仮想通貨/法定通貨の与信枠、およびリアルタイム報告を提供します。

あらゆる規模の顧客のあらゆる需要に対し、サービスを提供： LIQUID プラットフォームは、システム・コロケーション、自動取引戦略、クラウドソースのAIを利用したアルゴリズム、ならびに QUOINE の高度な専用取引ツール等のハイエンド・サービスにより、ワールドブックとプライム・プローカレッジを結び付けます。

普遍的なネイティブ・トークン： QUOINE LIQUID トークンである**QASH**は、QUOINE が提供するあらゆるサービスを動かすための燃料です。当社は既に、分散化プラットフォームに参入しようとしている金融機関やパートナー企業に対し、今後、彼らが提供する又は既存の金融サービスにおいて推奨されるトークンとしてQASHを採用してもらうよう協議を行っています。私たちは、QASH が支払いや送金をはじめとするさまざまな目的のために、金融業界およびその他の業界で幅広く利用される未来を思い描いています。

最終目標：QUOINEは、強固なグローバル金融サービス—クリプト経済全体の利点を活用し、誰もがユーザーやトークン保有者として参加できる先端プラットフォームを構築します。

QUOINE LIQUID は、クリプト経済のための完全な金融エコシステムを目指します。

# 02

## 背景

ビットコインが2009年に登場したときには、破壊的なショックが金融業界を襲おうとしていることを理解した者はわずかに過ぎませんでした。グーテンベルク印刷機やインターネットと同様に、ビットコインがエリート層から権力と情報コントロールを奪い、それらを人々に分配することとなるでしょう。

わずか8年間でビットコインの時価総額はゼロから700億ドルまでに増大しました。時価総額が10億ドルを超える暗号通貨はほかに12種類あります。すべての仮想通貨を合計すると時価総額は1,400億ドルを上回ります。それを取り巻くインフラやエコシステムの価値を含めれば、その価値はさらに大きなものとなるでしょう。

ここでいくつかの重要な統計を見てみましょう。世界の（法定通貨の）FX市場取引処理額は一日当たり5-6兆ドルにのぼります。仮想通貨の日々のシェアは（現在のところ）約20億ドルと比較的小さいものの、時折40-60億ドルに達することもあります。世界中には172種類の独自の法定通貨が存在する一方で、クリプト・トークンは1097種類あり、いまなお増加中です。これらの数字は、クリプト市場が今後も拡大していくことを示しています。

これまで、クリプト・トークンの価値の大部分が投機やトレーディングによってもたらされていました。後発者は誰もが「次のビットコイン」を探し求めています。毎日のように、世界中の取引所に、成功を求めて新しいクリプト・トークンが現れており、今後も大勢の新規参入者が続くでしょう。

何百万もの個人、数千もの企業、そして新たな産業も登場し、分散化されたクリプト・トークンのエコシステムの基盤を構築しようとしています。一般向けの決済から大規模な送金、資金調達、投資、スマートコントラクト、そしてこれまで思いつかなかったようなサービスに至るまで、破壊的創造はあらゆる方向から起こっています。

仮想通貨を生み出す世界がここにあります。金融の未来は分散化・非集中化であり、金融の民主化は既に始まっています。すべて力は人々の下に。

QUOINEへようこそ。当社グループは、業界における高い評判と、金融業界の血統を有し、成功を収めている仮想通貨企業です。2017年9月29日現在、当社グループは日本の金融庁で正式な登録を受けた、初のグローバル仮想通貨企業です（関東財務局長第00002号: <http://www.fsa.go.jp/menkyo/menkyoj/kasoutuka.pdf>）。当社グループのQUOINEX とQRYPOTOS は世界最先端の取引プラットフォームで、年間取引額は120億ドルを超えます。累積すれば250年に達する金融とテクノロジーの知識を融合したQUOINEのチームは、業界を熟知しています。現に、レガシーとしての金融は廃れつつあることを私達は十分に理解しています。大規模金融機関は、単純にイノベーションの進化に追いつけません。そして私達の挑戦は始まったばかりです。私達がどのような形で飛躍的成長を描いているのか、そしてなぜ私達こそがそれを実現できるのか、本書を読めばお分かりいただけると思います。

## 流動性の欠如という課題

クリプト・トークン市場における経済活動という、巨大でしばしば混沌とした大海の中で、参加者は様々な難題に直面しています。QUOINEは、取り組むべき1つの根本的な課題を特定しています。この課題は、あまりに大きくて見過ごされがちです。しかし世界のクリプト経済の健全性と成長のためは不可欠なものです。それは流動性です。流動性は、あらゆる産業、経済、そして個々の事業にとっての血液です。

流動性は、短期債務の弁済、新規事業のための資本調達、運転資金のニーズ等をカバーするものです。例えば、ある企業が世界最大規模の資産基盤と優れた事業を持っていたとします。しかし、その企業が短期資金が必要になった時点で、借入れや資産売却による資金調達ができなければ、資金繰りに窮することになります。金融の歴史はこのような惨事であふれていますが、今後もこうした事態を繰り返さなければならないのでしょうか。流動性の欠如は、国際的な金融危機におけるもっとも深刻なイベントを引き起こしました。BNPパリバがMMF（マネー・マーケット・ファンド）3本のうち1本において、流動性の欠如を理由に解約を停止したことから最初の大きな衝撃が始まりました。解約停止はベア・スタンズやリーマン・ブラザーズに飛び火して、最終的に両社は破綻しました。

現在、新たな金融界はその創造的なエネルギーを爆発的に増加しつつあるクリプト・トークンや刺激的なビジネスモデルの構築に注ぎ込んでいます。しかし流動性問題——人々の目を引くことは少ない基本的な要素——は取り組みが遅れたままです。個人または企業にとって最も重要な資産が、流動性を伴わない特定のクリプト・トークンに紐づいていたらどうでしょう。深刻な問題となるはずです。この問題はすでに発生しています。従来型の金融において流動性を最も提供しているのは、ゴールドマン・サックス、JPモルガン・チェース、シティバンク、バンク・オブ・アメリカ・メリルリンチ、およびドイツ銀行といった世界的な銀行やその他の金融機関です。

QUOINE はクリプト経済においてこれらの大手金融機関と同じ地位に到達できるでしょうか。それは可能だと、私達は確信しています。どのように可能なのか、以下をお読みください。

03

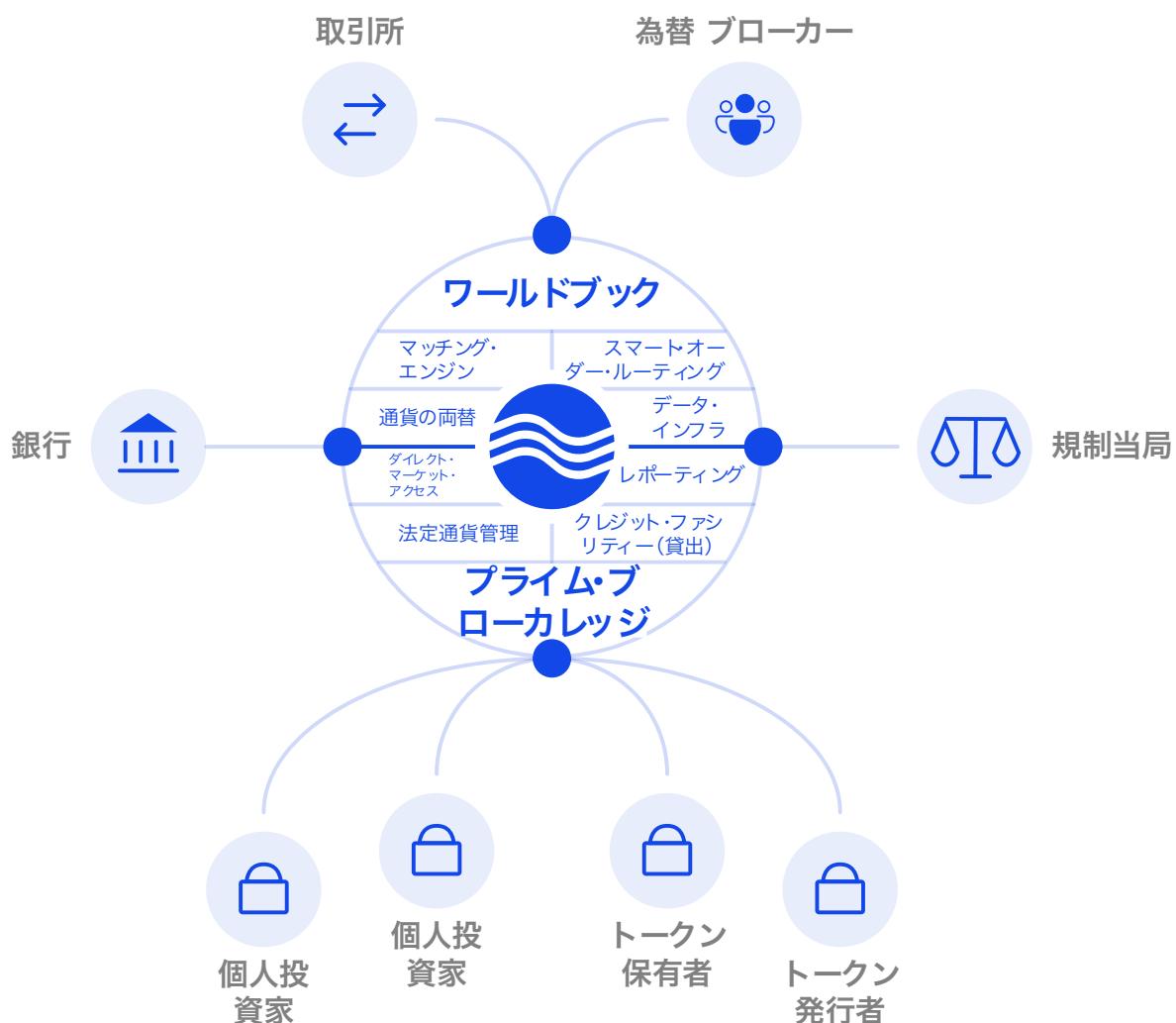
# QUOINE LIQUID プラ ットフォーム



QUOINE LIQUID プラットフォームへようこそ。流動性の乏しいクリプト経済に流動性を提供することを目的に構築したプラットフォームです。

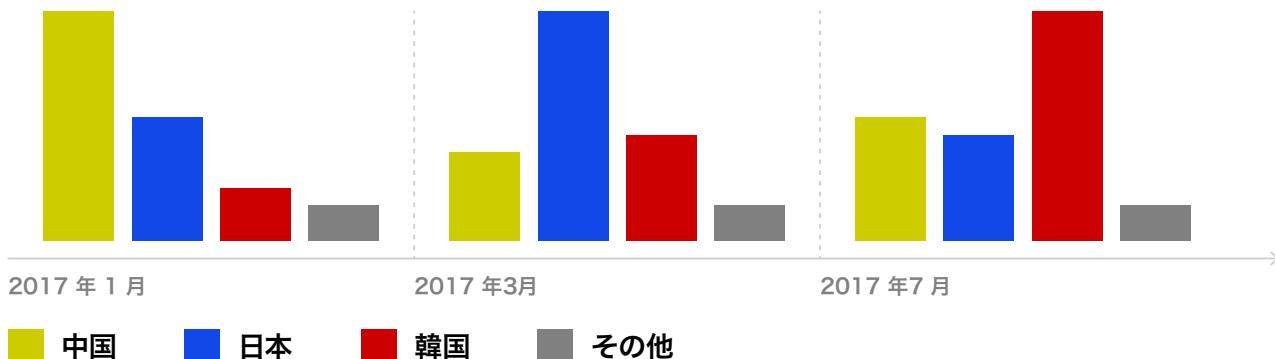
QUOINE は QUOINE LIQUID プラットフォームを現在立ち上げています。QUOINE LIQUID プラットフォームは世界中の流動性を集約した単一の取引プラットフォーム（ワールドブック）と、これに付帯する一連のサービス（プライム・ブローカレッジ）から構成されており、最高水準の流動性の提供を可能にします。プラットフォームを使用することで、誰もが新たなクリプト経済が提供するあらゆる機会を利用できるようになります。

LIQUID プラットフォームはシンガポール法に従って設立された QUOINE Pte. Ltd. により管理・運営されます。



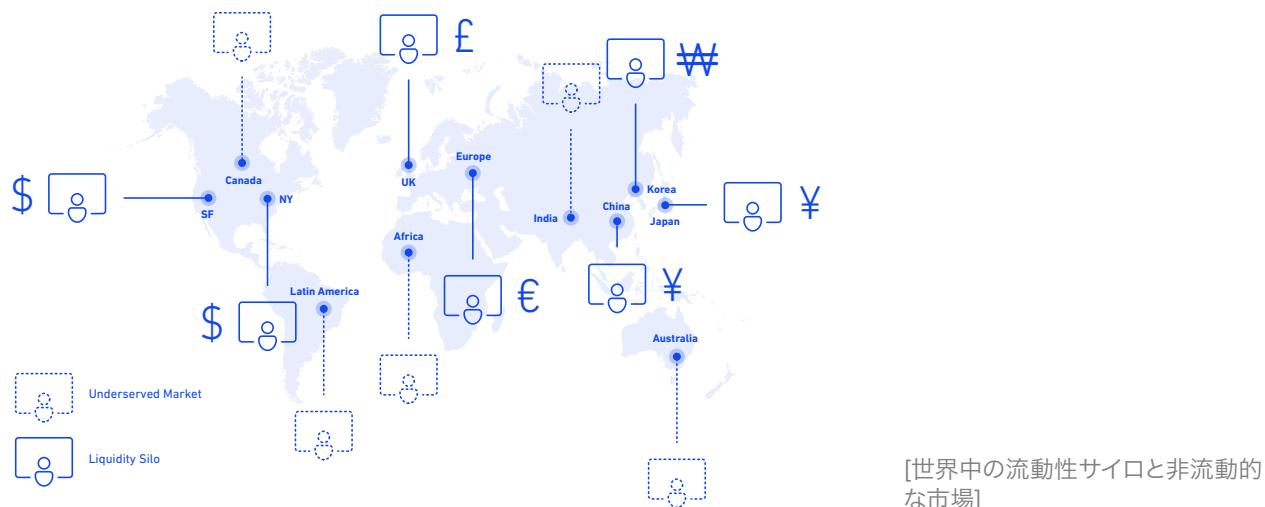
[QUOINE LIQUID プラットフォーム]

現在、クリプト・トークンの流動性の環境は細分化されています。トップクラスの仮想通貨取引所はいずれも、異なるクリプト・トークンのペアを提供しており、ある特定のクリプト・トークンのペアを支配する特定の取引所は存在しません。さらに、ある一定のペアの流動性と最良価格を提供する取引所は、ある取引所から別の取引所に移っていく場合があります。ある特定の時点において、ビットコインを購入するのに最適なのは米国かもしれません。しかし、1時間後、それはアジアまたは欧州になるかもしれません。同じことがイーサリアムやその他のクリプト・トークンについても言えます。



[地域/通貨別の流動性提供におけるリーダー国変遷]

ある意味で、多様な仮想通貨取引所は「流動性サイロ」であると言えます。それぞれの取引所は、一定の通貨ペアについて流動性が豊富な一方で、その流動性にアクセスできるのはその取引所の顧客に限定されます。そして大半の取引所が一部の流動性の高い通貨（米ドル、ユーロ、中国元、日本円等）について豊富な流動性を提供しているのに対し、マイナー通貨（カナダドル、ニュージーランドドル、シンガポールドル、フィリピンペソ、インドネシアルピア等）の保有者が、クリプト市場に参入するのに便利で流動性の高いオンライン（誘導路）は存在しません。一方で、それぞれのマーケットの流動性は小規模であるものの、併せれば手つかずの流動性の大きな源泉であって、クリプト世界への流入を切に望んでいるといえるでしょう。

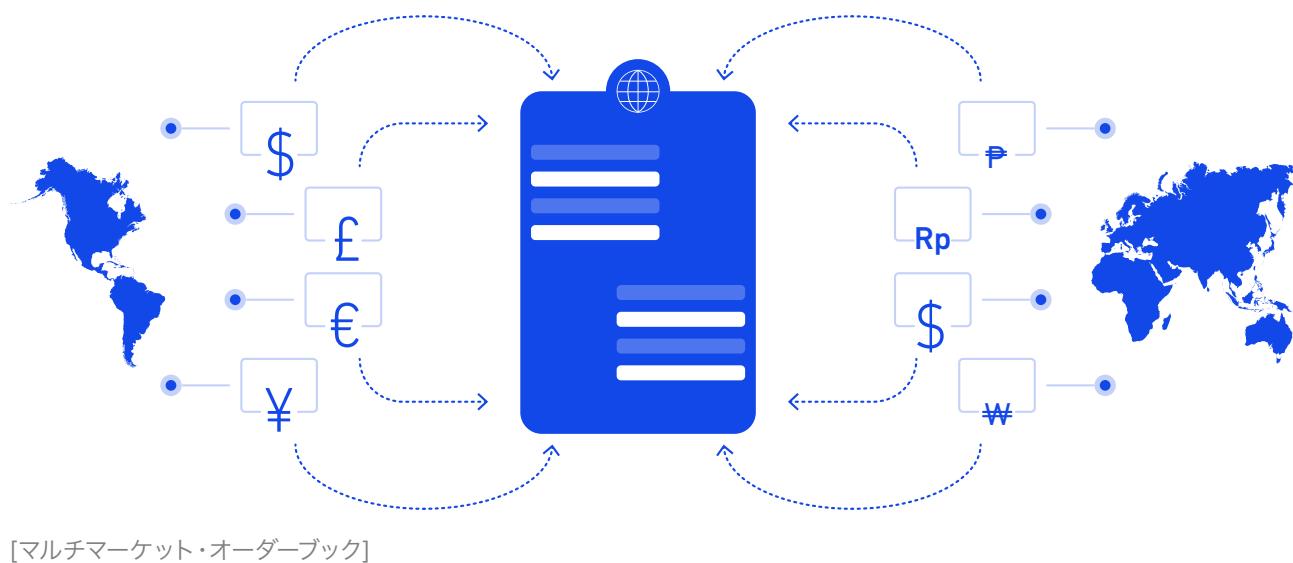


LIQUID プラットフォームは仮想通貨取引所の世界的なネットワーク全体を結合し、誰もがこれにアクセスできるようにします。世界中のあらゆる主要な定評ある取引所へのアクセスを持つ LIQUID プラットフォームは、個人投資家にも機関投資家にも、そしてトークン発行者にもトークン保有者にも、比類のない強力な一連の取引サービスを提供します。

## 3.1 ワールドブック

### 3.1.1 マルチマーケット・オーダーブック

LIQUID プラットフォームのワールドブックは、世界中の多様な取引所（流動性の源泉）のオーダー及び価格を、流動性の高い単一のオーダーブック上に統合し、かつ選択した通貨建てで発注することができるマルチマーケット・オーダーブックを提供します。



ワールドブックは、クリプト市場における「流動性サイロ」、「非流動的な市場」という、二つの重要な問題を解決します。

すでにご説明したように、流動性サイロとは、ある取引所が有する特定の通貨ペアの流動性（例えば、取引所AにおけるBTC/USD）が、別の取引所に存在する別の流動性（例えば、取引所BにおけるBTC/EUR）に容易にアクセスできないことから生じる流動性のポケットです。非流動的な市場とは、自らのクリプト・トークンの流動性をサポートできるほどの規模を持たない、孤立した小規模の市場を指します。

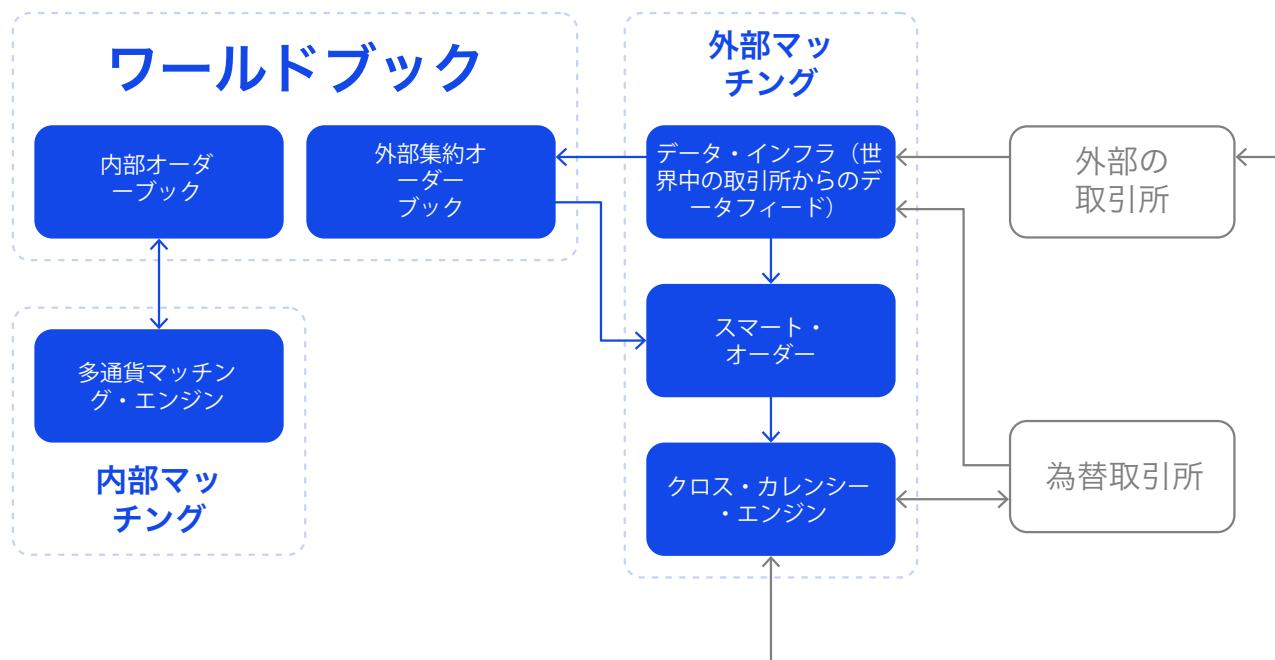
流動性サイロと非流動的な市場のみを持つ諸国の人々は、自国通貨でクリプト・トークンの取引ができるようになることを望んでいます。しかし、彼らがクリプト世界に参入できるほど高い流動性を備えた誘導路は存在しません。

流動性サイロと非流動的な市場の問題は、これらの取引所を結び付けての流動性を束ね、全ての主要通貨および多くのマイナー通貨で取引可能なオーダーブックとすることによって、解決できます。

ワールドブックは以下の2種類のオーダーブックから構成されています。

**内部オーダーブック：**ユーザーがワールドブックにおいて発注したすべての注文の為替調整済み注文のオーダーブック。

**外部集約オーダーブック：**内部オーダーブックにおける注文以外の、世界中の（しかし為替調整済みの）注文のオーダーブック。このオーダーブックにある注文はすべて、世界中の取引所における注文にリンクしています。

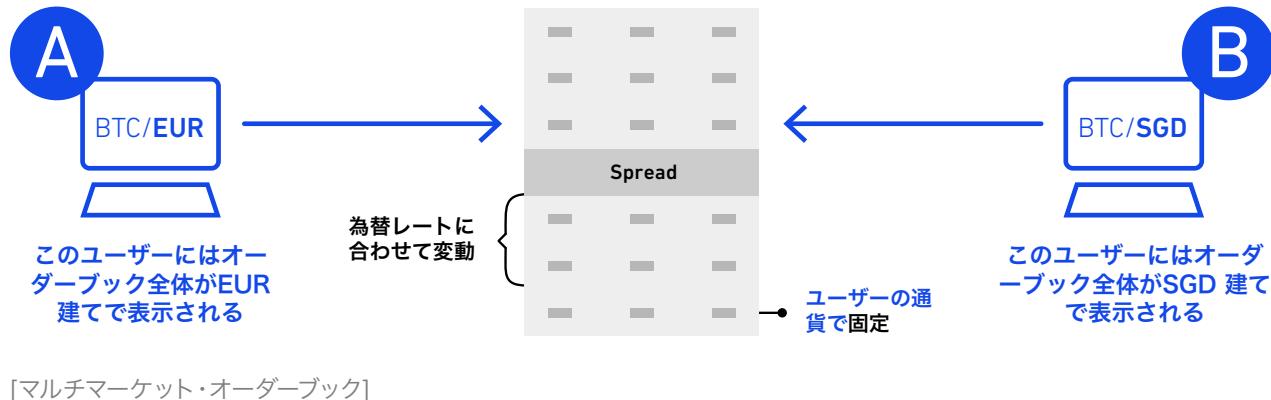


[ワールドブック]

LIQUID プラットフォームのワールドブックは、自身が選択した建値通貨での取引をサポートします。これがいかに便利かは、クリプト・トークンとFX（外国為替）の取引ペアは、基準通貨（売買する通貨。例えばBTC、ETH等）と建値通貨（価格を表示する通貨。例えば、USD、EUR等）で構成されることを理解すればわかるでしょう。BTC/ETH（基準通貨がETHで、建値通貨がBTC）等の純粋なクリプト・トークン・ペアを発注することも可能です。ワールドブックを使用するトレーダーは、主要な法定通貨のすべて、及び一部のクリプト・トークンから、建値通貨を選択できます。

例えば、BTC（基準通貨）を売却したいと考えるドイツのトレーダー（A）は、EUR（建値通貨）建てのBTC価格をワールドブックで見ることができるように選択できます。ワールドブック上で発注すると、自分の注文がBTC/EUR市場に発注されたことが確認でき、注文価格はオーダーブック上、EUR建てで表示されます。一方でワールドブックを使用するシンガポールのトレーダー（B）は、オーダーブック全体を、自分が選択した通貨（おそらくシンガポールドル（SGD））で見

することができます。シンガポールのトレーダーBは、ドイツのトレーダーAが発注したBTC/EURの注文を、SGD建てで見ることができます。シンガポールのトレーダーBから見ると、ドイツのトレーダーAの注文はEUR/SGDの為替変動に応じて変動します。BTC/EURの売却注文がBTC/SGDとマッチングすると、目に見えないところで為替換算が発生します。両当事者間での注文が執行される場合、それぞれが注文した通貨によって執行されることになります。



### 3.1.2 アーキテクチャー

LIQUID プラットフォームのワールドブックを支えるのは、QUOINEがすでに日々幅広く使用している、次の三つの技術です。

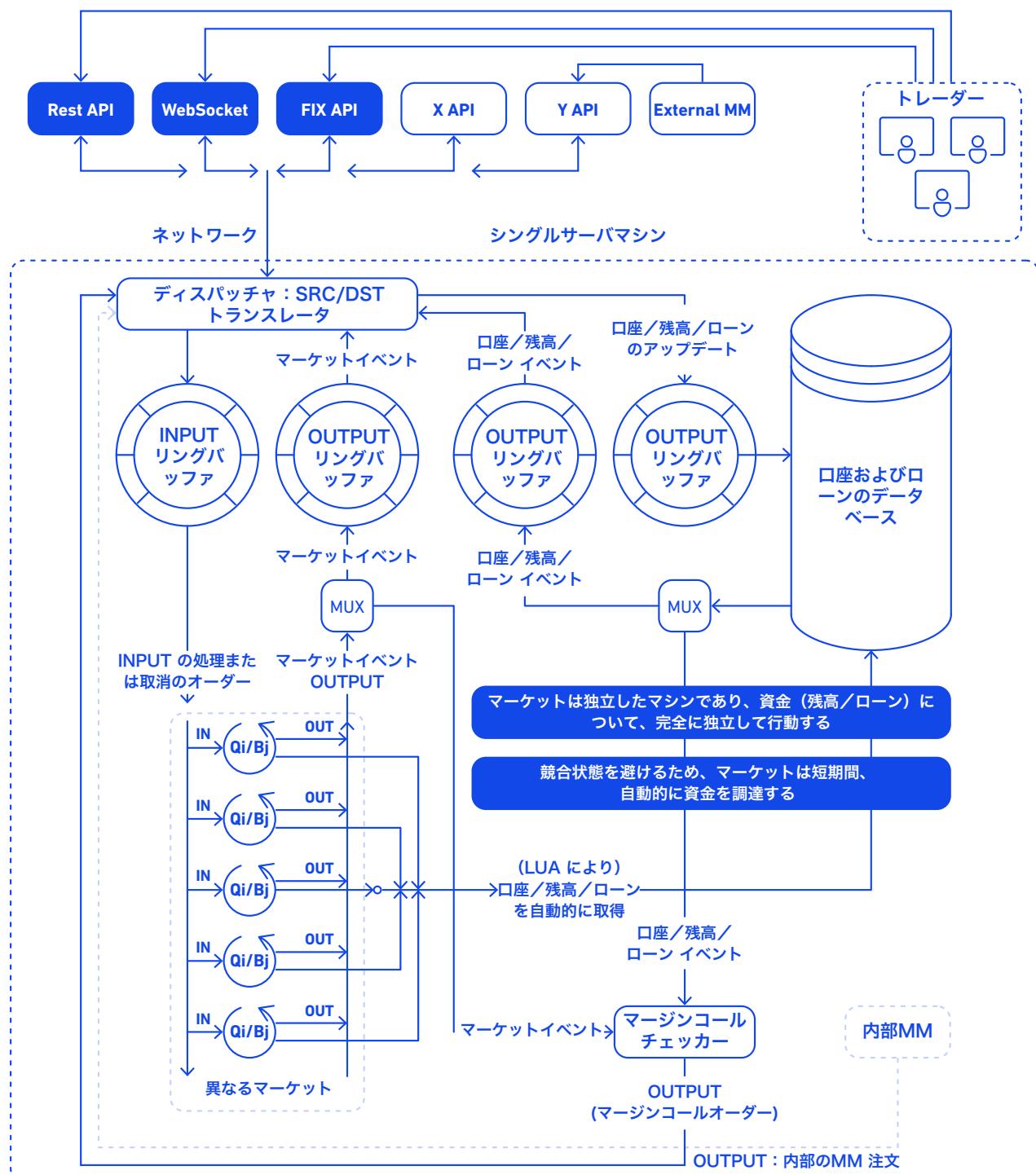
1. マッチング・エンジン (ME)
2. クロスカレンシー換算エンジン (CCCE)
3. スマート・オーダー・ルーティング (SOR)

#### マッチング・エンジン (ME) :

ワールドブックのマッチング・エンジン (ME) は、数十年に及ぶ金融工学の経験を統合し、一から構築した、一秒当たり数百万件の取引を処理することが可能な、業界で最先端のマッチング・エンジンです。

ME は、多くの市場 (クリプト・トークンの通貨ペア) をサポートし、かつ、主要な注文タイプをそのままサポートできるよう、きわめてスケーラブルな設計となっており、強力な注文管理システムも備えています。

これらすべての機能が、障害発生時の回復力と合わせて、ワールドブックのME をマーケットで最高水準のものとしています。



Qi, Q - リクエストキュー、i - キュー識別子

Bj, B - オーダーブック、j - オーダーブック識別子

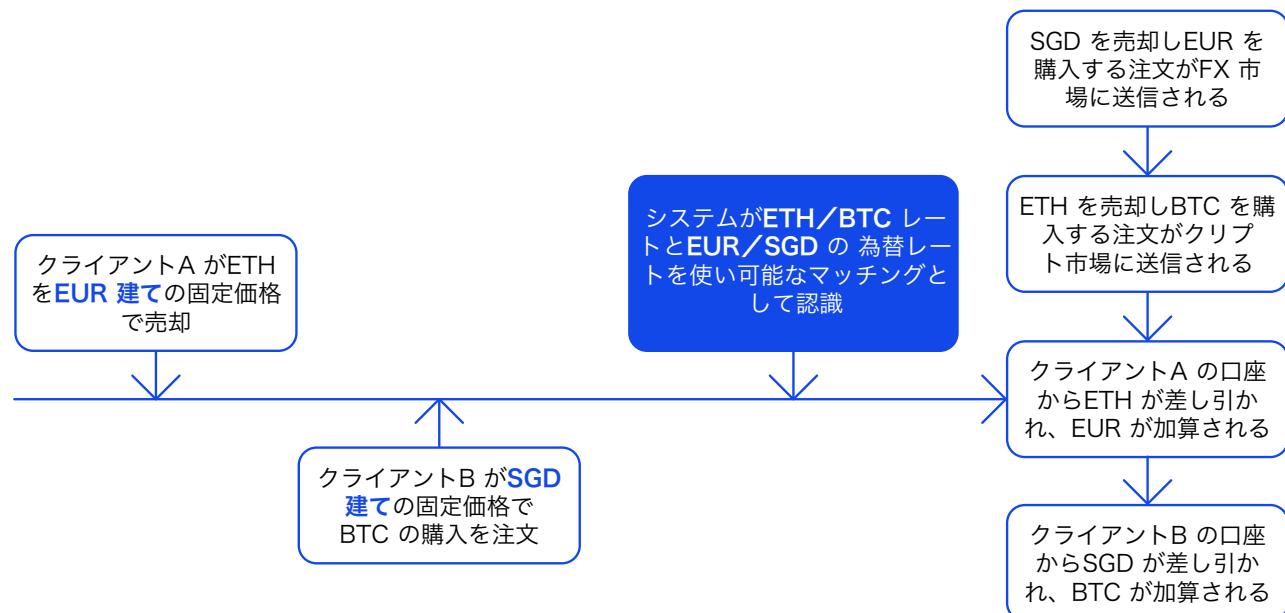
SRC - ソース、DST - デスティネーション、MUX - マルチプレクサ

[技術の図解／マッチング・エンジン]

## クロスカレンシー換算エンジン (CCCE) :

クロスカレンシー換算エンジンは、ほぼ瞬間的かつ自動的な通貨換算を可能にします。執行が確定しても両当事者の建値通貨が異なる場合、建値通貨の換算が必要になります。たとえば、ワールドブックのクライアント2名が両者ともETH（基準通貨）の取引を行う場合で、しかしながら一方はSGD、他方はUSDで取引を行う場合、マッチングを完了するためにはUSD/SGDの為替換算を取引に加えなければなりません。CCCEは、マッチングが確定する時点で、これを自動的に行います。また、CCCEは、現時点で執行可能な為替レートを反映するため、オーダーブックをリアルタイムの価格で絶えず調整します。特筆すべきなのは、この為替換算は法定通貨に限定されていないという点です。たとえば、通貨換算にETH/BTCを使うことにより、ETH/SGDでの注文とBTC/SGDでの注文とをマッチングすることが可能になります。

さらに、法定通貨の為替換算を追加することにより、ETH/EURおよびBTC/SGDの通貨ペアの間でマッチングを成立させることも可能となります（下図参照）。CCCEを使うことで、ワールドブックおよびスマート・オーダー・ルーティング (SOR) は、通常であればマッチングしない複数の場所から流動性を調達することができ、ワールドブックで追加的な流動性を利用できるようになります。

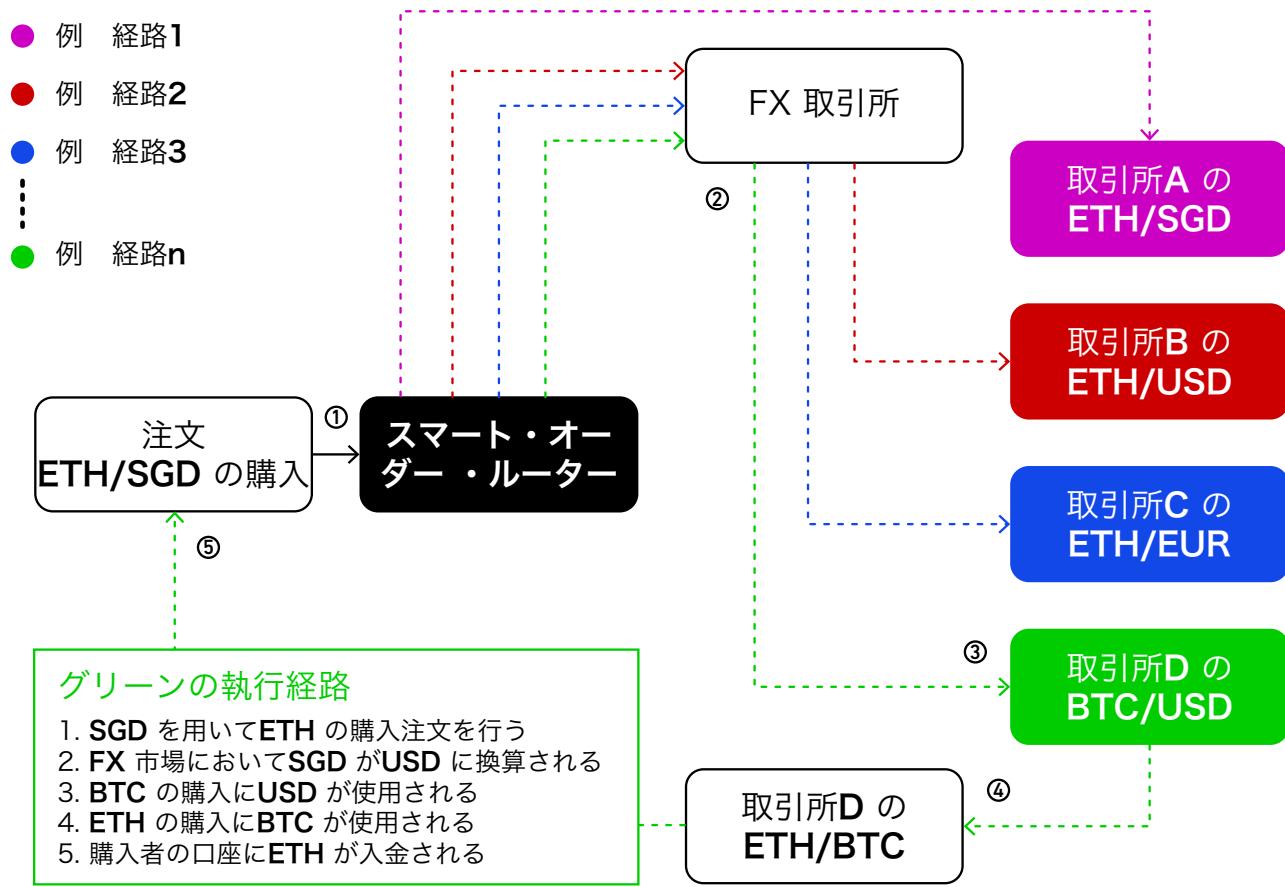


## スマート・オーダー・ルーティング (SOR) :

スマート・オーダー・ルーティング技術は、世界中の全ての主要取引所からのローレイテンシーのリアルタイム (R/T) フィードを維持します。

これら取引所のオーダーブックのいずれかに変更があれば、その変更はLIQUIDプラットフォームのワールドブックに反映されます。

ワールドブックに注文が入り、内部的にマッチングが見つからない場合、スマート・オーダー・ルーティング技術が外部の取引所においてマッチングが見つからないか確認します。マッチングが見つかった場合は、その取引所において注文された通貨建てで自動的に注文を転送します。



## 3.2 プライム・ブローカレッジ

LIQUIDプラットフォームのプライム・ブローカレッジは、カウンターパーティリスクを軽減しROIを向上させるツールをユーザーに提供する、一連のサービスで構成されています。プライム・ブローカレッジは、そのコアとなるサービスとして、いわゆるダイレクト・マーケット・アクセス、法定通貨管理およびクレジット・ファシリティーを含みます。

ユーザーは世界的に有名なあらゆる取引所において、口座や資金をその取引所に置くことなく直接取引を行うことができるようになります。

LIQUIDプラットフォームのユーザーは、以下の利益を享受します。

1. カウンターパーティリスクの軽減: LIQUIDプラットフォームのユーザーは、そのカウンターパーティとしてQUOINEのみと取引を行えば足ります。QUOINEは、日本において、世界で最も厳しい規制機関の一つとして知られる日本の金融庁(FSA)の管轄下にあります。
2. 資本効率の向上: LIQUIDプラットフォームのユーザーは、直接の資金移動を伴うことなく実質的に他の取引所で取引を行うことができます。資金移動は、QUOINEの資金供給ファシリティを通じて行われ、クリプト・トークンおよび法定通貨のいずれでも即時に完了します。

### 3.2.1 ダイレクト・マーケット・アクセス

プライム・ブローカレッジにより、ユーザーは、QUOINEのスマート・オーダー・ルーティング(SOR)の技術と世界的に有名なすべての取引所との接続を利用して、単一のプラットフォームから最速最善の方法で取引を約定するためのダイレクト・マーケット・アクセスを得ることができます。

当社の最新の取引ダッシュボードにより、LIQUIDプラットフォームのユーザーは、主要取引所において、毎日24時間、取引勘定を管理し、発注を行い、リスクを管理し、すべての世界市場を注視することができます。

当社のオーダー・マネジメント・システム(OMS)およびマッチング・エンジン(ME)は、秒速数百万回の注文処理を可能とする、他に例のない銀行レベルのパフォーマンスを提供します。

当社のOMSは、一般的・先進的両方の注文タイプおよび執行アルゴリズムを備えた、プロフェッショナルレベルのFIX APIを提供します。

### 3.2.2 法定通貨管理

法定通貨管理は、市場に流動性をもたらすという点に関して、最も困難な（かつ最も厳しい）制約事項の一つです。大量の法定通貨の送金には費用と時間がかかります。これこそが、クリプト・トークンが金融の将来を担う理由の一つなのです。

過去3年にわたり、QUOINEは銀行との関係性において広範なネットワークを構築してきました。当社の銀行戦略の一環として、他の主要取引所と同一の銀行（多くの場合、同一の支店）に口座を開設することにより、当社の銀行口座を他の取引所の銀行口座と同一の場所に配置してきました。

また、当社は、法定通貨の送金を最適化するために世界の主要銀行との協力を開始しています。こうした協力により、国際的に法定通貨の送金を迅速に完了させることが可能になる見込みです。このサービスは、プライム・ブローカレッジを利用する第三者流動性プロバイダも利用することができます。QUOINEは、資金移動業者としての許認可のほか、必要に応じてその他の許可またはライセンスを取得する予定です。

## なぜこの革新が流動性にとって重要なのか

限定的な流動性しか提供することができない第三者流動性プロバイダは多く存在します。これらの者による流動性の提供は、法定通貨の送金にかかる時間と費用により事実上制約を受けます。このサービスを当社のプライム・ブローカレッジの一部として提供することにより、第三者流動性プロバイダは資金をより良く収益化することができるようになるため、第三者流動性プロバイダは、このプラットフォームを利用しようとするでしょう。

### 3.2.3 仮想／法定通貨のクレジット

LIQUIDプラットフォームのプライム・ブローカレッジは、仮想／法定通貨のクレジット・ファシリティーを拡大し、より良い取引機会の中でユーザーが現存の残高を活用できるようにします。仮想／法定通貨のクレジット・ファシリティーにより、ユーザーは、法定通貨またはクリプト・トークンのいずれかを担保として借入れを行うことができます。

QUOINE LIQUID TOKEN (QASH)は、取引の担保としても使用することができます（当社のトークンに関する詳細は、以下のセクションをご参照ください。）。

また、QUOINEは、ユーザーに提供することのできるサービス範囲を拡大するため、正式な銀行業務ライセンスを申請中です。QUOINEは、必要に応じてその他の許可またはライセンスも取得する予定です。

### 3.2.4 リアルタイム報告

プライム・ブローカレッジのユーザーは、カスタマイズされた出入金明細書にアクセスし、そのポジション、現金残高、取引等を含む出入金に関する詳細な情報を閲覧することができます。ユーザーは、すべての約定を閲覧するため、取引確認報告を取得することができます。

### 3.3 その他のサービス

#### 3.3.1 システム・コロケーション

当社のLIQUIDプラットフォームは、物理的に当社のマッチング・エンジンおよびOMSシステム付近（または当社の取引パートナー・ネットワーク内で流動性の場となっている付近）に配置される当社の強固なプライベート・サーバの一つにおいてコロケーションを提供します。

当社は、主流プログラミング言語に関する支援を提供します。LIQUIDプラットフォームのユーザーは、自らの戦略を開示し、このプラットフォーム上でそれらの戦略を他の顧客に有償で提供することもできます。

#### 3.3.2 自動取引戦略

当社のLIQUIDプラットフォームは、第三者の取引戦略へのアクセスおよび当社独自の自動取引・マーケットメイク戦略へのアクセスを提供します。ユーザーは、公開されている自動アルゴリズム戦略リストから選択した上で、これらの戦略を用いて自らのアセットを取引することができます。戦略は公開され、当社のユーザーはこれにアクセスすることができます。ユーザーは、選択プロセスにおいて役に立つ、戦略に関する過去の実績その他の詳細入手することができます。

当初、これらの戦略はQUOINEにより提供されます。しかし、当社が利用するプラットフォーム、データおよびツールは、業界全体にわたって何千ものデータ・サイエンティストに対して利用可能となる予定であり、取引戦略を策定し提供する才能／技能を持った個人またはチームへのアクセスを可能にします。

取引戦略の利用例は、以下のとおりです。

1. ICO/ITSトークン発行者は、自動マーケットメイク戦略を利用して自らのトークンのマーケットメイクを行うことができます。
2. 有能な金融市場分析専門家および取引システム開発者は、取引システムを設計した上で、このシステムを自らの資産の取引に利用するか、あるいは利益および／または手数料をシェアするために世間に共有することができます。
3. クリプト・トークン保有者は、一つまたは一まとめの戦略を選択した上で、自動戦略を用いて自らのアセットを自動で取引することができます。

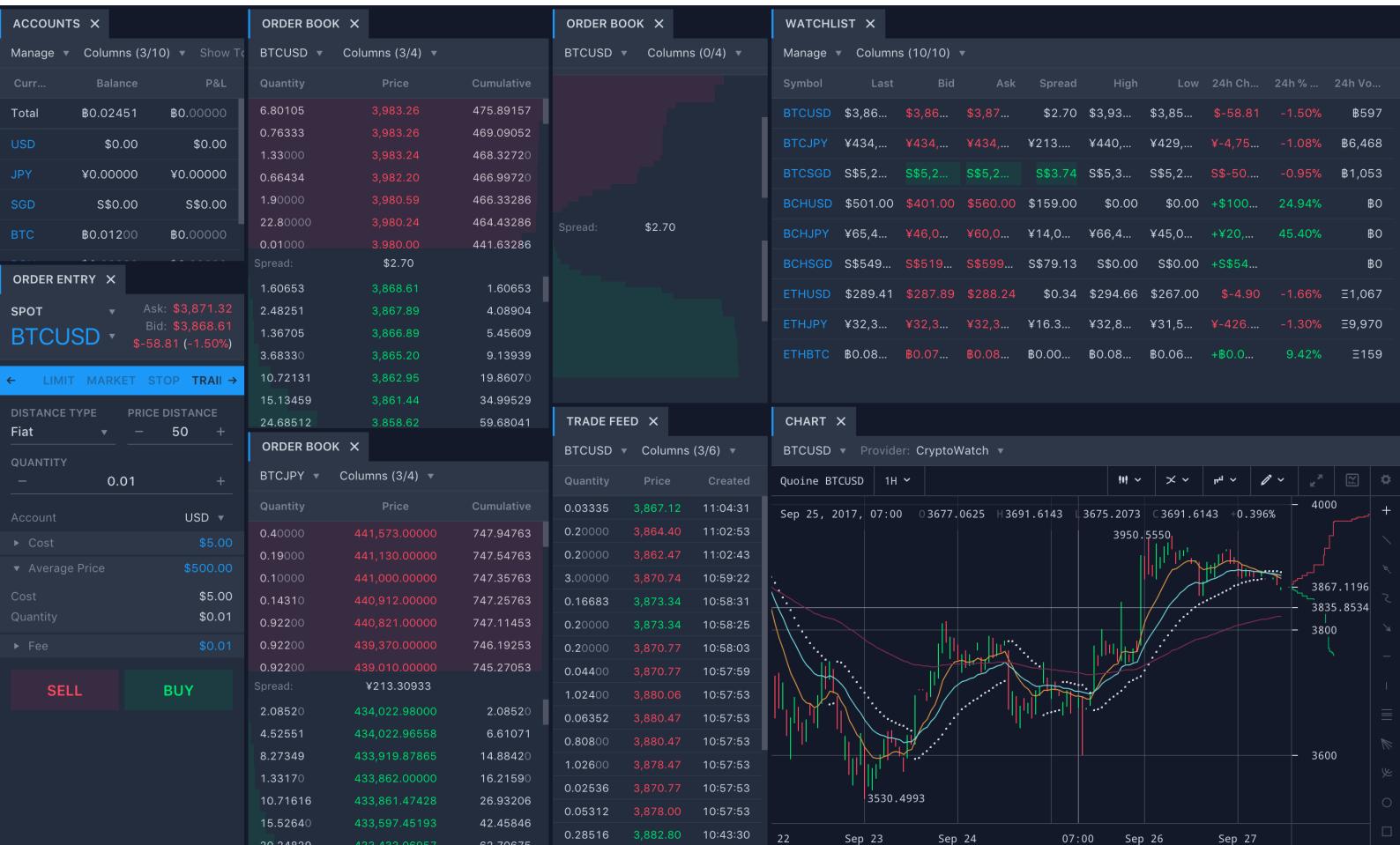
自動取引戦略は、適用ある法律、規則および規定により許可された範囲でのみ提供されます。

### 3.3.3 取引ツール

QUOINEのLIQUIDプラットフォームのユーザーは、長い年月をかけてQUOINEのプロダクトのために開発された業界最高水準の取引ツールにアクセスすることができます。

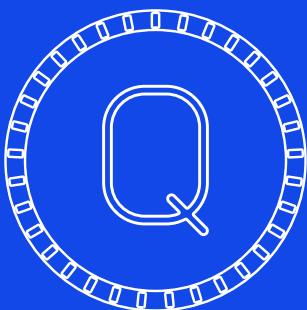
これらのツールの中で、ユーザーは、QUOINEのプロダクトのために開発された、LIQUIDプラットフォームに対応した強力な取引ダッシュボードに全面的にアクセスすることができます。

ユーザーは、その取引およびポジションの管理、世界市場のリアルタイムの監視、注文の実行および管理、ライブチャートの閲覧等を行うツールにアクセスすることができます。



# 04

## QASHトークンセール



## 4.1 トーケンの概要

仮想通貨経済は、クリプト・トーケンの利用を通じて新しい分散型・非中央集権型インフラストラクチャを構築する全く新しい方法を私達に提供してきました。人々は、一体となって真に求めるもの、真に信じるもののために資金を供給し、トーケン保有者として、トーケンの有用性と価値の成長から利益を享受しています。

QUOINEは、QUOINE LIQUID TOKEN (QASH)を通じて、金融ユーティリティ（すなわち、仮想通貨経済全体が利益を享受することができ、かつ人々がユーザーとしてもトーケン保有者としても参加することができるプラットフォーム）を構築しています。

QASHは、QUOINE Pte. Ltdにより発行され、同社および／またはその指定業者により販売されます。QASHは、QUOINEの株式を表章するものではなく、保有者に対していかなるQUOINEの事業体の議決権、配当または利益分配権を付与するものではないことにご留意ください。QASHは、LIQUIDプラットフォームおよびQUOINEの既存のプラットフォーム (QUOINEX およびQRYPOTOS) により提供されるすべてのサービスに動力を供給する燃料として使用できるクリプト・トーケンです。

QASHには、次の2つの主要な機能があります。

1. 当社のすべてのプラットフォーム上でユーザーがサービス対価の決済に利用できるクリプト・トーケン。
2. 公開市場で取引可能なクリプト・トーケン。

これらに加えて、QASHは、金融業界およびその他の業界すべてにおいて利用可能となります。QUOINEは、QASHの利用方法を制限せず、QASHをビジネスに利用したいと考える企業を制限しません。そのため、すべての企業、組織、個人が、ビットコイン、イーサリアムのETHおよびリップルのXRP等と同様に、クリプト・トーケンとしてQASHを利用することができます。

LIQUIDプラットフォームに対する需要が高まるにつれ、QASHの有用性は拡大し、QASH保有者は、その価値を、QUOINEおよびそのパートナーが提供するすべてのサービスおよび機能の「対価の決済」に利用することができるようになります。

**参加者が徐々に非中央集権型プラットフォームに移行するにつれ、QASHは、幅広い金融業界により提供されるすべてのサービスの対価の決済に使用される推奨スタンダード・トーケンになりますと当社は期待しています。**

QUOINEは、将来および既存の金融サービスでQASHを推奨決済トークンとすべく、既に複数の金融機関、フィンテック新興企業およびパートナーと協議中です。

#### 4.1.1 トークンの有用性

QASHの価値は、まず、LIQUIDプラットフォームおよびQUOINEにより提供されるサービスのために、すなわち手数料の支払いや与信の担保として、あるいは、取引戦略に参加するために利用されます。

QASH保有者は、その価値を以下と引き替えに使用することができます。

##### 取扱手数料

LIQUID プラットフォーム

QRYPTOS

QUOINEX

##### プライム・ブローカレッジ

ダイレクト・マーケット・アクセス

法定通貨管理

仮想／法定通貨のクレジット

##### その他のサービス

システム・コロケーション

自動取引戦略

取引ツール

#### 4.1.2 取引可能上場資産

QASHは、QUOINEの取引プラットフォーム上およびその他の取引所で取引することができるようになる予定です。様々な取引所にQASHを上場させることは、流動性によってトークンの有用性を高めるにあたり当社が期待している別の方法です。

#### 4.1.3 保有者の独占的利益

最後に、追加のインセンティブとして、QASH保有者は、定期的なプロモーション、手数料の割引、新商品／新サービスへの優先的なアクセスおよびQUOINEが立ち上げを支援する将来のICO／トークンセールへの投資機会を得ることになります。

## 4.2 トーケンの販売条件概要

トーケン名	QASH
コード	QASH
発行総数	1,000,000,000 QASH
トーケン販売価格	1 QASH = 0.001 ETH (ただし、4.3項記載の 販売期間内の購入につき20%の特別ディスカントを実施)
特記事項	ERC-20 イーサリアムをベースとするトーケン
トーケン最大販売数	350,000,000 QASH ~350,000 ETH
トーケン最小販売数	50,000,000 QASH ~50,000 ETH
資金使途	第4.4項

## 4.3 トーケンセール・プロセス

トーケン発行者は、数百万ドル規模の盗難につながるサイバー攻撃、ハッキングおよびなりすましを経験しており、その数は日に日に増えています。その理由として、現在のICOプラットフォームには、購入者が資金を預託し移動させるための適切なセキュリティ措置が整備されていないことが挙げられます。典型的には、デポジットは、適切なKYCチェックを経ずに、あるETHアドレスから別のアドレスへと移動します。多くの場合、購入者が購入資金を送付する宛先としては、世間に公開された単一のアドレスが用いられています。ハッカーおよび詐欺師はこれを利用し、偽のETHアドレスをフォーラムにポストすることで、トーケン購入者は思いがけずハッカーのアドレスに仮想通貨を移動させてしまうのです。

当社のトーケンセールでこれを確実に阻止すべく、当社は、すべてのトーケン購入者にとって安心安全で、基準に準拠したプロセスを確保するための、厳格な予防措置を講じています。当社は、当社の安全な取引・交換プラットフォームであるQRYPTOSのみを通じてトーケンセールを実施する予定です。

**日本の居住者を除くすべての購入者は、仮想通貨を安全に送金してQASHトーケンセールに参加するため、QRYPTOS上に口座を開設する必要があります。**

**QRYPTOS上に口座を開設し、トーケンセールに参加するための登録ステップは、次頁に説明されています。**

**日本の居住者のトーケンセールへの参加につきましては別途QUOINE株式会社からご案内します。**

## 1. QRYPTOS口座を設定／有効にする

- a. LIQUIDのランディング・ページ ([www.liquid.plus](http://www.liquid.plus)) から入り、「今すぐ登録する」をクリックします。このボタンを押すと、QUOINEのQRYPTOS登録ページ (<https://accounts.qryptos.com/sign-up>) に移ります。
- b. 画面上の指示に従い、QRYPTOS口座を登録します。氏名、Eメールアドレス、自宅住所等のいくつかの基本情報を入力する必要があります。また、Google認証アプリケーションの2ファクター認証を有効化することによりログインを保護します。より詳細な指示についてはヘルプセンターから閲覧することができます。
- c. 上記の完了後、[service@quoine.com](mailto:service@quoine.com)から、口座の確認／有効化のリンクが記載されたEメールが登録Eメールアドレスに送信されます。このリンクをクリックし、口座を有効化してください。これで、実際のトーケンセールのために事前に資金を預託できるようになります。
- d. なお、日本の居住者はQRYPTOSに口座を開設することはできません。日本の居住者のトーケンセールへの参加につきましては別途QUOINE株式会社からご案内します。

## 2. QRYPTOS口座に資金を預託し、QASHを購入する

- a. QRYPTOSにログイン後（2ファクター認証コードが必要です。）、BTCまたはETHのいずれかで口座に資金を預託し、QASHを購入することができます。各QASH購入者は、資金調達のために独自のBTCまたはETH預託アドレスが割り当てられます。
- b. 購入者は、口座に資金を預託した後、「QASHを購入する」をクリックし、希望する購入額を入力し、送信します。QRYPTOSは、購入者の口座から当該額のBTCまたはETHを自動で差し引き、購入されたQASHトーケンを付与します。購入者が口座にBTCを預託した場合、QUOINEは、購入時点のETH/BTCの時価（QUOINEの合理的な裁量で決定されます。）に基づき、当該購入者が入力したQASHの額に応じて、当該購入者の口座から差し引かれるBTCの額を決定します。

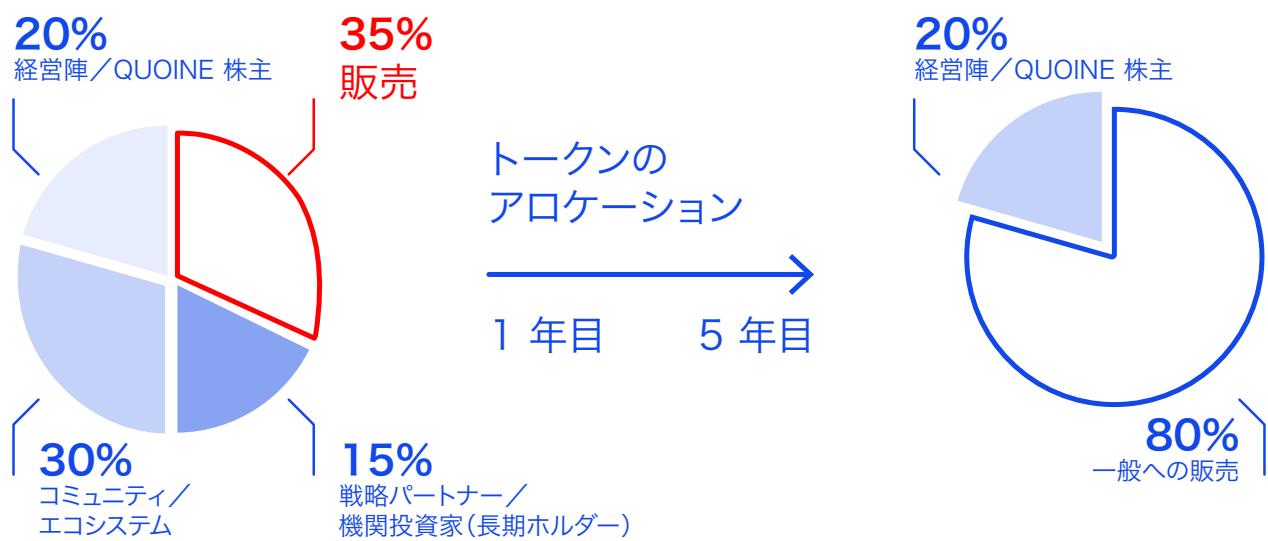
1. 購入の注文は、一度行うと撤回も取消しもできませんのでご留意ください。
2. QRYPTOS口座を保有している既存QUOINEユーザーは、ホームアカウントタブにある「QASHを購入する」のボタンをクリックしてすぐにトークンセールに参加することができます。
3. QUOINEは、ソーシャル・メディア、メッセージ・サービス、電子掲示板等を通じて包括的な資金調達アドレスを提供することはいたしません。多くのICOハッキングはこれらを通じて発生しているためです。
4. QASHトークンセールは、2017年11月6日、シンガポール時間 (UTC+8時間) 午前00:01に開始し、同月8日、シンガポール時間 (UTC+8時間) 午前23:59に終了します（販売期間）。
5. 購入要求総数が、販売期間以内に最大販売数を超過した場合、QUOINEは、購入者の要求数の割合に応じてQASHを比例配分します。
6. QUOINEが、販売期間内にトークン最小販売数である50,000,000 QASHを満たすことができない場合、QUOINEは、取扱手数料および／またはネットワーク手数料を控除の上、デポジットを返金します。

## 4.4 資金使途

トークンセール直後のトークン保有権の帰属は、以下のとおりです（1年目）。

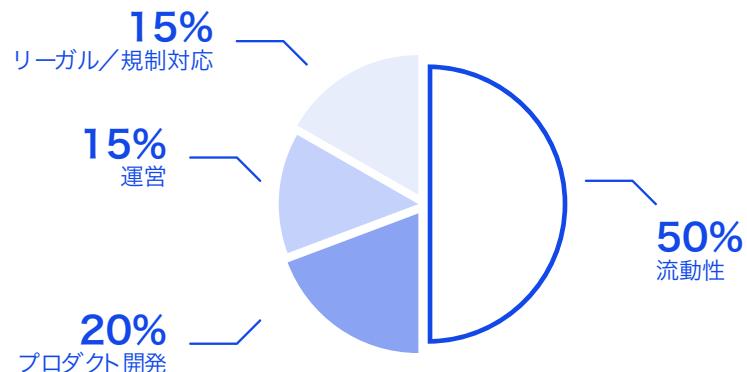
その後、5年目までに、QUOINEは、経営陣／QUOINE株主に割り当てられた20%を除き、すべて分配します。

### トークン・アロケーション



資金は、流動性 (50%)、プロダクト開発 (20%)、運営 (15%) およびリーガル／規制対応 (15%) に使用されます。

### 資金使途



## 4.5 QASHブロックチェーン

QASHはまずは、イーサリアムのERC-20トークン・スタンダードをベースに構築されます。

2019年第2四半期までに、QUOINEは、特定の金融業界の要求事項を取り込んだ独自のブロックチェーン（QASHブロックチェーン）の構築を目指します。現在のところ、既存のブロックチェーン（イーサリアムを含みます。）はいずれも、そのブロックチェーン上において（支払や送金等の基本的なサービスを除き）有意義または拡張可能な金融サービスを構築するための洗練されたツールを提供できていません。

すべてのQUOINEサービスはQASHブロックチェーンに移行される予定であり、また、ERC-20をベースとする既存のQASHは、QASHブロックチェーン上で新たに創出されるQASHトークンと交換される予定です。

QASHブロックチェーンは、スマートコントラクトの設計および構築のための、より洗練された金融業界のプログラミング言語（Pythonのような言語その他金融業界で一般的に使用される言語）をサポートします。これにより、金融機関およびフィンテック新興企業は、QASHブロックチェーン上に非中央集権型金融サービスを構築することができます。QASHブロックチェーンは、2019年第2四半期の発表時には、以下の特徴を備える予定です。

1. KYC/AML
2. ノード管理（地域制限）
3. 金融サービスの特徴
  - a) 信用／貸付管理
  - b) 市場データ配信
  - c) マージン管理
  - d) マッチング・エンジン
  - e) マーケットメイクエンジン
  - f) 新規クリプト・トークンの発行
  - g) 銀行業務
  - h) その他

QUOINEは、QASHを基盤とするブロックチェーンに基づく金融サービスを創出します。多くのフィンテック・サービスがQASHブロックチェーンを活用するにつれ、QASHは、金融サービス・プロバイダのエコシステムを成長させ、ひいてはQASHの有用性を高めることにより、最高の仮想通貨になると当社は期待しています。

# 05

## 利益を享受する者

## 5.1 個人トレーダーおよび機関トレーダー

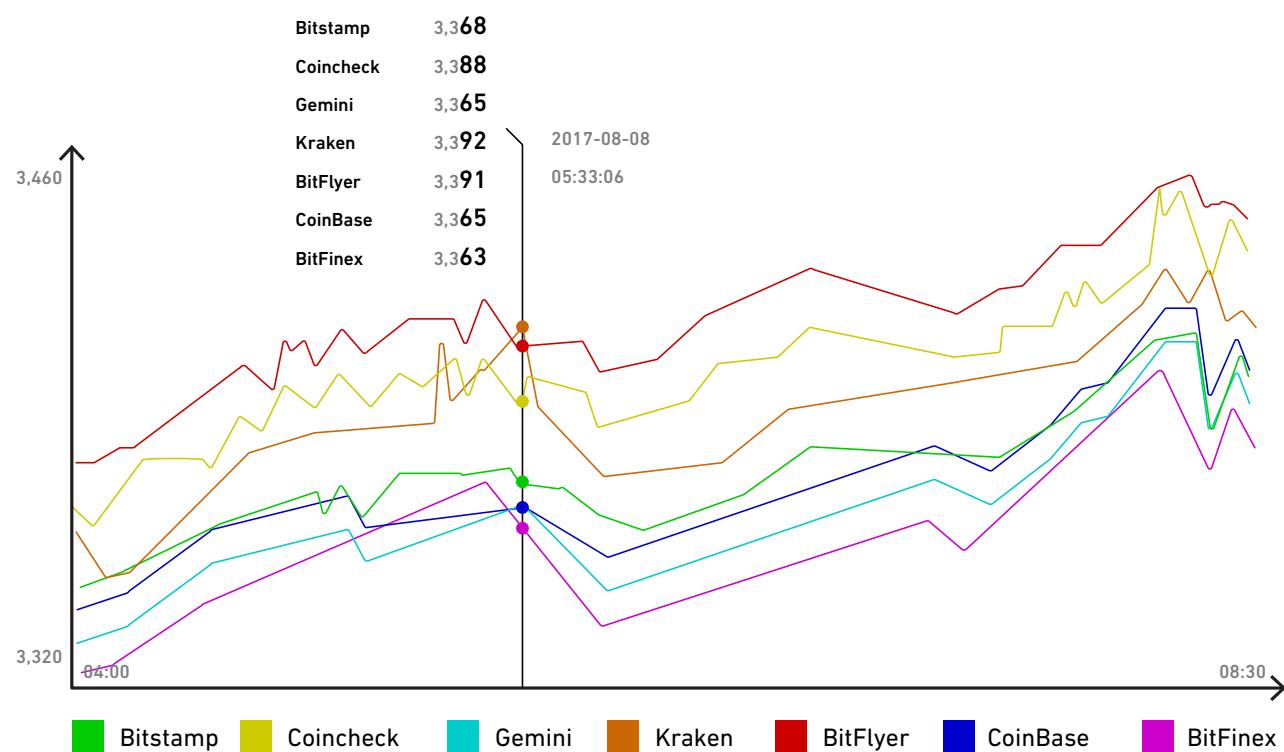
### 素晴らしい技術へのアクセス

長年にわたり、QUOINEは、世界の仮想通貨取引の大部分に接続するための、高い可用性とパフォーマンスを備えた最先端技術を構築してきました。これは、当社のネットワークで各取引の注文を管理するためのスマート・オーダー・ルーティング(SOR)およびオーダー・マネジメント・システム(OMS)技術のほか、すべての関連グローバル仮想通貨取引を対象とする強力なリアルタイム市場データ・インフラストラクチャを含みます。

### 世界の流動性に対するアクセス

かつてないほど多くのクリプト・トークンおよび取引所が、投資家およびトレーダー等に対し重要な機会と課題の両方を提示しています。40億ドルから50億ドルが数十の取引所におけるクリプト・トークン市場で日々取引されており、近年では10%を優に超える変動を見せてています。これは、相當に大きな機会をトレーダーおよび投資家に提供しています。

下図は、BTCの主要取引所におけるスプレッドを示しています。



[BTCの主要取引所におけるスプレッド]

## リスクの軽減

リスクを可能な限り最小限にしつつ、利益が見込めるすべての機会に効率的かつ安全な方法でアクセスすることには、課題が存在します。

本書の作成時点では、様々な要因により、こうした機会を十分に利用することは極めて困難です（不可能にすら思います。）。様々な要因というのは、カウンターパーティリスクから、技術的な制約、金融／銀行業務に関する制限、価格変動が激しいこと、資本効率の低迷および明確かつ公正な価格設定の全体的な欠如にまで及びます。

カウンターパーティリスク単体でも、規制のない中央集権型取引所となれば重大な課題が伴います。昨年は、QUOINEを除く5つの大手取引所（取引高ベース）のすべてがハッキングされ、資金の盗難に遭い、顧客は何百万ドル（いくつかのケースでは何千万ドル）もの損失を余儀なくされました。

## プロフェッショナルレベルのサービスへのアクセス

QUOINEのLIQUIDプラットフォームが提供するサービスは、単体で利用される場合ももちろん強力ですが、プライム・ブローカレッジ、法定通貨管理サービスおよび洗練された報告ツールと組み合わせることで一層強力な影響力を有することができます。

当社のLIQUIDプラットフォームで大規模に取引することは、もはや少数の人にとっての特権ではなくなります。

当社は、仮想通貨経済が提供すべき取引機会にすべての人がどこからでも参加し、こうした取引機会から利益を享受することができる、完全にオープンな超接続型プラットフォームを立ち上げようとしています。

これは、金融の真の民主化なのです。

## 5.2 トーケン発行者

現在では様々な業界において何百もの新規クリプト・トーケンが発行されており、発行者が提供しようとする様々なサービスを支えています。

前セクションで述べたとおり、課題は、大抵の場合、新規発行による流動性が全くない（または極めて限定的である）という点です。これは、新規クリプト・トーケン保有者および発行者のいずれにとっても問題です。

**QUOINEは、トーケン保有者およびトーケン発行者に対し、クリプト専用取引所であるQRYPTOSを開設します。**  
**ただし、QRYPTOS が取り扱うことのできない証券その他の規制金融商品に分類されるクリプト・トーケンについては、QRYPTOS に上場されません。**

トーケン発行者は、QRYPTOSでそのトーケンの市場を創出するためにLIQUIDプラットフォームのすべての技術およびサービスを利用することができます。当社のLIQUIDプラットフォームは、新興クリプト・トーケン経済を全面的に支えることができ、現在直面している流動性に関する課題を取り除く一助となります。

トーケン発行者は、新規発行／売出しおよびマーケットメイク業務の自動セットアップを行うことができ、または管理サービスの一環としてこれを行うことができます。LIQUIDプラットフォームのワールドブックおよびマーケット・データ・サービスは、専門のマーケットメイク戦略と組み合わされることにより、新規クリプト・トーケンのマーケットメイクを可能にし、ひいては新規クリプト・トーケンについて流動性の創出と適正な価格設定を実現します。

以下の特徴が含まれます。

- ・ QRYPTOS上のウェブベースのセルフサービス・セットアップ ([qryptos.com](http://qryptos.com))
- ・ LIQUIDプラットフォームの高性能マッチング・エンジンの利用
- ・ マーケット・データ・サービス
- ・ 独自にマーケットメイクを行うため、またはLIQUIDプラットフォームのマーケットメイクサービスを利用するためのツール（トーケン発行者は在庫を提供する必要があります。）

## 5.3 トーケン保有者

初期段階から仮想通貨の世界に参加している者であってICOおよびトーケンセールに参加した者は、その資産の大部分を様々なクリプト・トーケンに投資しています。

LIQUIDプラットフォームの成功は、価格の安定性を向上させ市場操作を削減することによりトーケン保有者に利益をもたらし、ひいてはクリプト・トーケン資産の価値を高めます。

LIQUIDプラットフォームはまた、トーケン保有者に対し以下の追加的サービスを提供します。

### クリプト・レンディング

トーケン保有者は、QRYPOTOSにおいて、自らが有するクリプト・トーケンを有償で貸し付けることができます。貸付を行うことは、信用取引を行う流動性プロバイダに必要な在庫を提供することでトーケン市場の流動性を高めます。これは、特定のトーケンの全体的な流動性を高めます。

### トーケン流動化サービス

トーケン保有者が多額の資産を特定のクリプト・トーケンに投資しており、これを迅速に流動化する必要がある場合、この流動化はトーケン市場を混乱させ、機能停止させるおそれがあります。保有者は第三者サービスを利用することができますが、費用が高く不透明であり、情報漏洩につながるおそれもあります。

LIQUIDプラットフォーム、ワールドブックおよび洗練された自動注文タイプを利用することで、保有者は、クリプト・トーケン市場を混乱させることなく、また第三者サービスを介在させることなく、大量のポジションを流動化することができます。

## 5.4 金融サービスの革新者および社会全体

現在金融サービス業界で起きている不可逆的な革新の波の一環として多くのアプリケーション、プロダクトおよびサービスが導入されていますが、仮想通貨およびその基礎となるブロックチェーン／分散型台帳技術は、その主な起爆剤となっています。

この新しい革新の波は、しばしば「フィンテック革命」と呼ばれ、あらゆる面で従来の金融サービスを完全に破壊すると予想されています。これは最終的に、世界で25億人超いると推定される銀行へのアクセスを全く有しない「アンバンクト(unbanked)」を含むすべての人々に対し、より良い、より速い、より安い、そして仲介業者のいない金融サービスをもたらします。

また、クレジット記録における支払能力の欠如等の理由により従来の銀行を利用した信用取引を行うことができない「アンダーバンクト (underbanked)」と呼ばれる個人および企業も、数え切れないほど存在します。

取引所および銀行との関係性に係るQUOINEのグローバル・ネットワーク、規制ライセンスおよびコンプライアンス/セキュリティの枠組みは、国内外への送金、支払および貸付に関する多くの既存のフィンテック代替モデルに存在するギャップを埋めることができます。

当社は、QASH が幅広い金融業界で使用される推奨トークンとなり、非中央集権型プラットフォームに移行する金融サービスを力づける存在になると期待しています。

# 06

## QUOINEの競争優位性

これまでに存在する他の多くのトークン・オファーリングと異なり、LIQUIDプラットフォームは、国際レベルの会社 (QUOINE) に支えられた真のプロダクトです。

QUOINEは、合計すると数百年に及ぶ金融工学の知見を有する優秀な経営陣と、何十万人ものアクティブ・ユーザーにより既に利用されているまさに今拡張可能なプロダクトを有しています。

## 6.1 国際レベルのチーム

当社は、金融および技術の分野において合計すれば**250年**に及ぶ経験を有する国際的レベルのチームを編成しています。

我々のチームは、フォレックスIT、フォレックス・トレーディング、アルゴス、エクイティ・トレーディング・システムおよびFICC（債券、為替および商品）において確固たる実績を有する者で構成されており、これらはすべて、インターネットおよびモバイル技術における専門知識と結び付いています。

最も注目すべきは、当社が世界最大の仮想通貨取引所の1つであるQUOINEXを設立したことです。QUOINEXは、日本の金融庁の規制を受けており、世界で最も規制の厳しい市場における要求事項に完全に対応しています。

QUOINEの経営陣は、以下の会社で働いていました。

- ・ **金融機関**: ゴールドマン・サックス、バンク・オブ・アメリカ・メリルリンチ、クレディ・スイス、シティグループ、バークレイズ、UBS、ANZ、ユニオン・バンク、ラボバンク、ウェルズ・ファーゴ・バンク、ブルームバーグ、プライスウォーターハウスクーパース、シンプレクス、スコッティ・D・グループ、キャピタル・マーケッツ・トレーディング等
- ・ **インターネットおよび技術**: ソフトバンクグループ株式会社、サムソン、シンガポール・テレコム、BSB、ハイク、ガンホー・オンライン・エンターテインメント、グラブ、ルクソーラ、プロティビティ、SAP等
- ・ **その他**: 三菱商事、アンダーソン・コンサルティング、エア・アジア、セフォラ等

## 6.2 プロダクトの準備

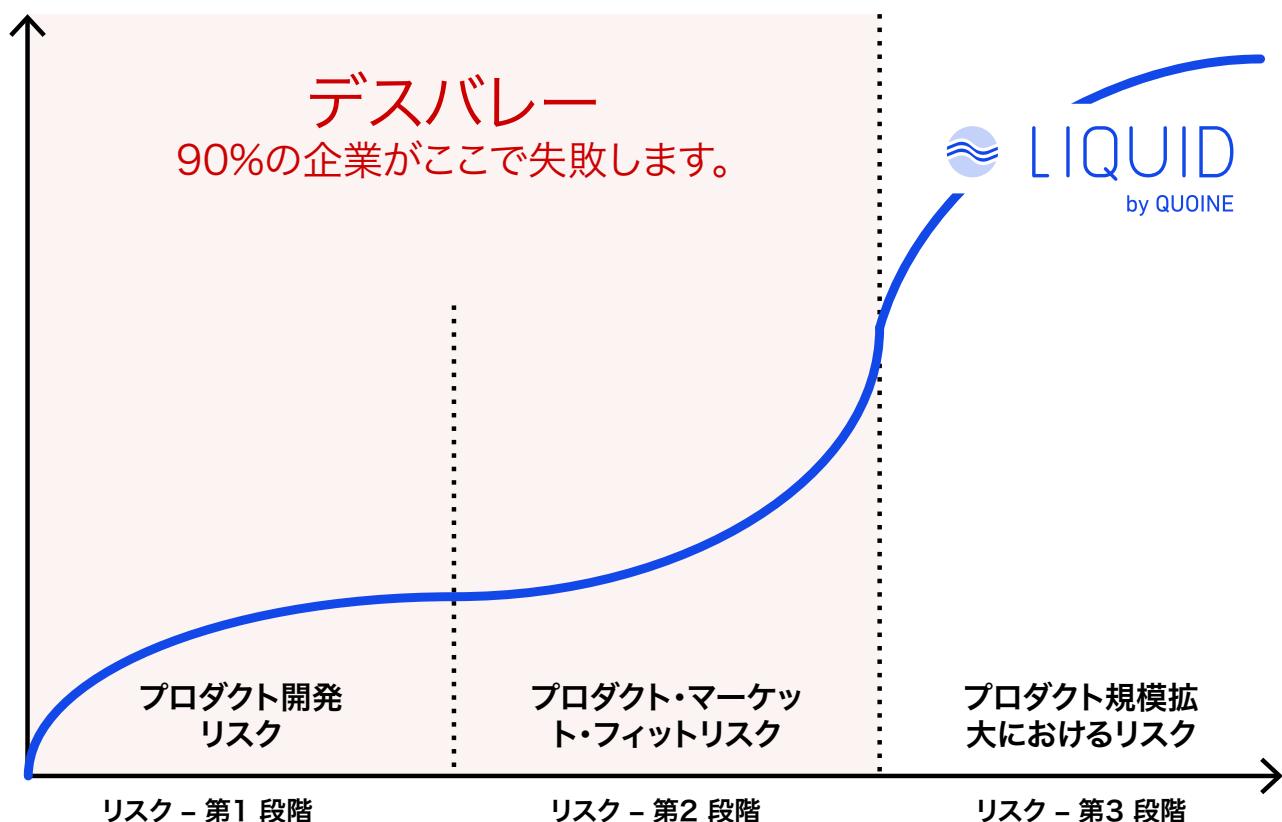
当社のコアプロダクト開発は、既に完了しています。コアプロダクト開発に関するリスクはありません。

LIQUIDプラットフォームは、

- ・ 一つのプラットフォームから、信頼ある世界中のすべての主要取引所に接続します。
- ・ 個人トレーダーおよび機関トレーダーの両方に対し、比類ない強固な一連の取引サービスを提供します。

当社のプロダクト・マーケット・フィットは確かなものです。仮想通貨経済は流動性を必要としており、当社は根本的な問題を解決しようとしています。当社は、当社の最先端の技術を用いて今後もプロダクトの改良を継続します。

すべての新興企業に当てはまるのですが、残念なことに企業の90%はプロダクト開発およびプロダクト・マーケット・フィットの段階で失敗します。しかしQUOINEは、既にその「デスバレー(死の谷)」を乗り越えました。



## 6.3 取引所および銀行との関係性

過去3年間、QUOINEは、すべての主要な大陸において国際的な取引所および銀行との関係を構築してきました。その結果、LIQUIDプラットフォームはこれらを利用することができます。仕事の規模（資源、規制、専門サービス）は、当社のLIQUIDプラットフォームをまさにユニークなものにしています。

当社は、規制を完全に遵守し、当局規制を受けているため、こうした関係性を構築することができています。また当社は、当社の既存のプラットフォーム（QUOINEXおよびQRYPOTOS）上で重大な事故や窃盗に遭ったことはありません。

**取引所：**LIQUIDプラットフォームは、15を超える世界中の仮想通貨取引所に接続します。当社は既に、カウンターパーティリスクを評価するための広範囲に及ぶデューディリジェンスや段階的監視システムを実施しています。

**銀行：**LIQUIDプラットフォームは、日本、米国、EU、台湾、シンガポール、フィリピン、インドネシアにおいて銀行口座を有しております、今後も増え続けます。口座開設プロセスは、仮に成功した場合でも（多くの銀行は、未だに仮想通貨新興企業を拒絶し、例外を認めない不寛容な方針を採っています。）、場所を問わず6ヶ月から2年はかかります。当社チームは、他の多くの企業が失敗した場所で成功しているのです。

## 6.4 日本での規制対象

QUOINEの親会社であるQUOINE株式会社は、日本の金融庁の下で全面的に規制を受けている仮想通貨取引所を運営しており、当社は、2017年9月29日で正式に登録された最初の国際的取引所となりました（登録番号00002）。

当社は、全面的に国家レベルの規制を受けている世界初の取引所であり、プロダクトおよびサービス全体にセキュリティ、信頼性、コンプライアンスおよびガバナンスをもたらします。

## 6.5 コンプライアンスおよびセキュリティ

当社は、QUOINEのプロダクトが、クリプト・トークンの領域で最もコンプライアンスを遵守したサービスであることを誇りに思います。ケン・マツツイオ最高コンプライアンス責任者、独立内部監査役を含むリスク担当役員らの強固なチーム、当社の外部監査人である4大系監査法人、全従業員を対象とするコンプライアンス研修、および当社のリスク管理委員会により承認され上席経営陣全体により実施される年間コンプライアンス計画により、当社はQUOINE内のコンプライアンス文化を構築してきました。

当社は、仮想通貨の業界および社会全体の評判を害するマネーロンダリングおよびテロ資金供与のリスクを認識しています。当社は、仮想通貨の世界を主導する最優良事例となるべく当社のプログラムの向上に継続的に努めています。

この文化により、当社は世界中で、他の者にはできなかった場所で、銀行口座を開設することができました。他の仮想通貨取扱会社は、特に法定通貨との関係では、これほどまでの広がりと深度に到達していません。

QUOINEは、仮想通貨業界がまだ特定のAML規制の対象になっていない法域で事業を行う場合、FATFガイドラインを厳格に遵守します。当社は、当社が事業を行う法域で適用されるすべての法令及び規則を遵守します。当社は、KYCsphereおよびトムソン・ロイター・ワールドチェック・ワン等の国際レベルのツールも使用することで、AMLの遵守および「顧客確認」義務を管理し、制裁対象者スクリーニング (UN、OFAC、EU等) を実施し、重要な公的地位を有する者(PEPs) の特定を行っています。

セキュリティおよびプライバシーの面では、当社は、長年の経験を生かして銀行レベルのセキュリティに取り組み、従来の金融機関を追い抜くための最新のツールおよび技術と組み合わせてきました。

当社は、すべての主要なセキュリティ領域を網羅した、フィンテックレベルの新しいセキュリティ・プログラムを実現しました。その内容は以下のとおりです。

1. アクセス制御
2. アプリケーション開発セキュリティ
3. 事業継続性および災害復旧計画
4. 暗号
5. 情報セキュリティ・ガバナンスおよびリスク管理
6. 法的規制、調査およびコンプライアンス
7. 運用上のセキュリティ
8. 物理的および環境的セキュリティ
9. セキュリティ・アーキテクチャおよびデザイン
10. 電気通信およびネットワーク・セキュリティ

社内のチーム、プロセスおよびツールならびに当社が使用する最新の外部セキュリティ・ツールおよびサービスに加えて、当社は、攻撃者の一步先を行くため、専門的な外部侵入テスターおよびクラウドソース侵入テスト・サービスを採用しています。これにより、当社のシステムおよび情報の機密性、利用可能性および信頼性を保護し、ひいては当社のユーザーを保護しています。

QUOINE は、年中無休24 時間体制でセキュリティに取り組んでいます。セキュリティは一人一人の責任であり、すべての事業分野から選出された上席経営幹部らで構成される当社のリスク管理委員会により管理され、最新の技術およびツールにより支えられています。

## 6.6 QUOINEとの独占的提携 (QUOINEX、QRYPTOS)

LIQUIDは、QUOINEの既存のプラットフォームと独占的提携を結ぶことにより、QUOINEとの共通インフラ、プロダクトツールおよびベストプラクティスのナレッジ・シェアを活用し、比類のない競争力を手にします。

### QUOINEX (quoine.com)

年間取引高が120億米ドルを超える日本で登録された世界最大級の仮想通貨と法定通貨との取引所の一つです。

**QUOINEX**

ENGLISH 日本語 Go Mobile! Download on the App Store Get it on Google Play API

Sign In Create An Account Open Demo Account

WELCOME TO QUOINEX

You are in GUEST mode. Some trading features are limited or not available. To try the full trading dashboard, please SIGN UP or ENTER DEMO MODE.

☰ QUOINEX HOME FUND MY ACCOUNT QI WORKSPACE: GUEST PANELS ALIASES SIGN UP ENTER DEMO MODE 🌐 🌐 🌐

ORDER ENTRY ORDER BOOK CHART

MARGIN Ask: \$4,255.54  
BTCUSD Bid: \$4,250.42  
-\$97.95 (-2.26%)

LIMIT MARKET STOP TRAIL

Quantity: 0.01 Cumulative: 15.00000 4,391.38 185.03927

LEVERAGE: 2x MODE: One-Direction

Account: USD Cost: \$42.56

Average Price: \$4,255.58 Fee: \$0.11

Margin: \$21.28 Daily Interest: \$5.15

SELL BUY

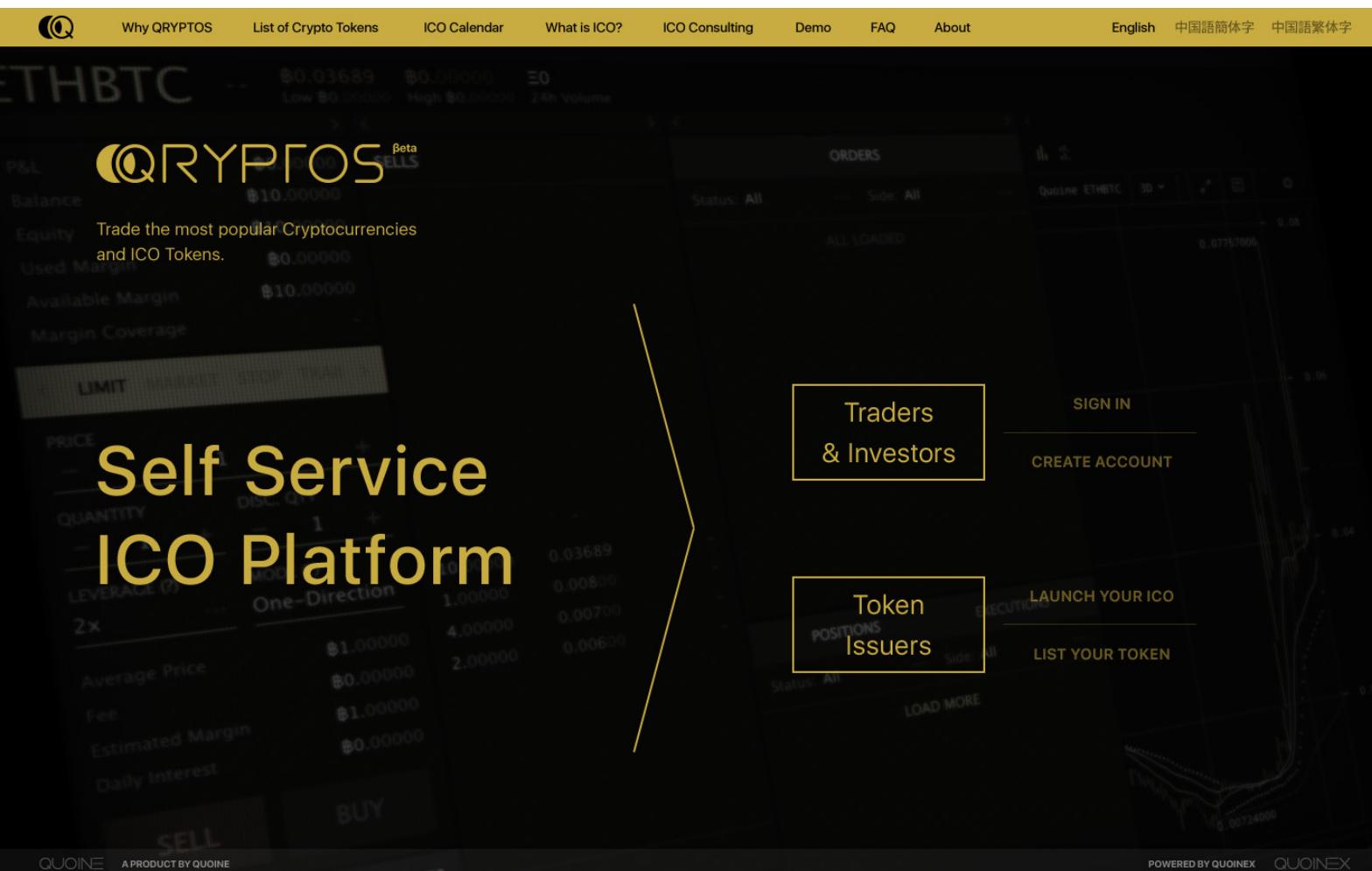
DISMISS

WATCHLIST

Symbol	Last	Bid	Ask	Spread
BTCSGD	\$5,670.92	\$5,707.14	\$5,710.00	\$2.86
BCHUSD	\$675.00	\$550.00	\$815.00	\$265.00
BCHJPY	¥60,000	¥60,000	¥62,000	¥2,000
BCHSGD	\$501.00	\$731.88	\$999.00	\$267.12
BTCPNL	\$22.50	\$22.50	\$22.50	\$0.00

QRYPTOS (www.qryptos.com)

当社の仮想通貨専用の取引所です。QUOINEは、すべてのトークン発行者のために、トークンの新規発行および二次流通の両方が可能な自動的なセルフ・サービングのプラットフォームを開設します。



# 07

## 競争状況

当社が提供するサービスのうち、一部のセグメントを扱おうとする企業は多く存在します。しかし、必要となる成功要因と商品特性を持ちあわせている企業は、当社の他にはありません。

### 成功要因

	LIQUID	OMEGA ONE	BANCOR	QUANTAVE	EXCHANGE UNION	RIALTO	SALT
実績あるチーム	✓	●	●	●	●	●	●
構築済・実証済のコアプロダクト	✓	●	●	●	✗	✗	✗
取引所及び銀行業との関係	✓	✗	N/A	N/A	N/A	✗	N/A
規制の遵守(日本等)	✓	✗	N/A	N/A	✗	✗	✗
コンプライアンス・セキュリティ体制	✓	N/A	●	N/A	✗	✗	✗
四大監査法人	✓	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

✓ 完全実施

● 一部実施

✗ 未着手  
N/A 不明／非開示

Based on QUOINE research of White Papers

### プロダクトの特徴

	LIQUID	OMEGA ONE	BANCOR	QUANTAVE	EXCHANGE UNION	RIALTO	SALT
集約オーダーブック	✓	✓	✗	✗	✗	N/A	✗
スマート・オーダールーティング	✓	●	✗	✗	✗	N/A	✗
マッチング・エンジン	✓	●	✗	✗	✗	N/A	✗
リアルタイム・カレンサー・コンバージョン	✓	✗	✗	✗	✗	N/A	✗
マーケット・メイキング	✓	✗	✗	N/A	N/A	✗	✗
フィアット管理	✓	✗	N/A	✗	N/A	N/A	✗
クレジット・レンディング・ファシリティー	✓	✗	N/A	N/A	N/A	N/A	✓

✓ 完全実施

● 一部実施

✗ 未着手  
N/A 不明／非開示

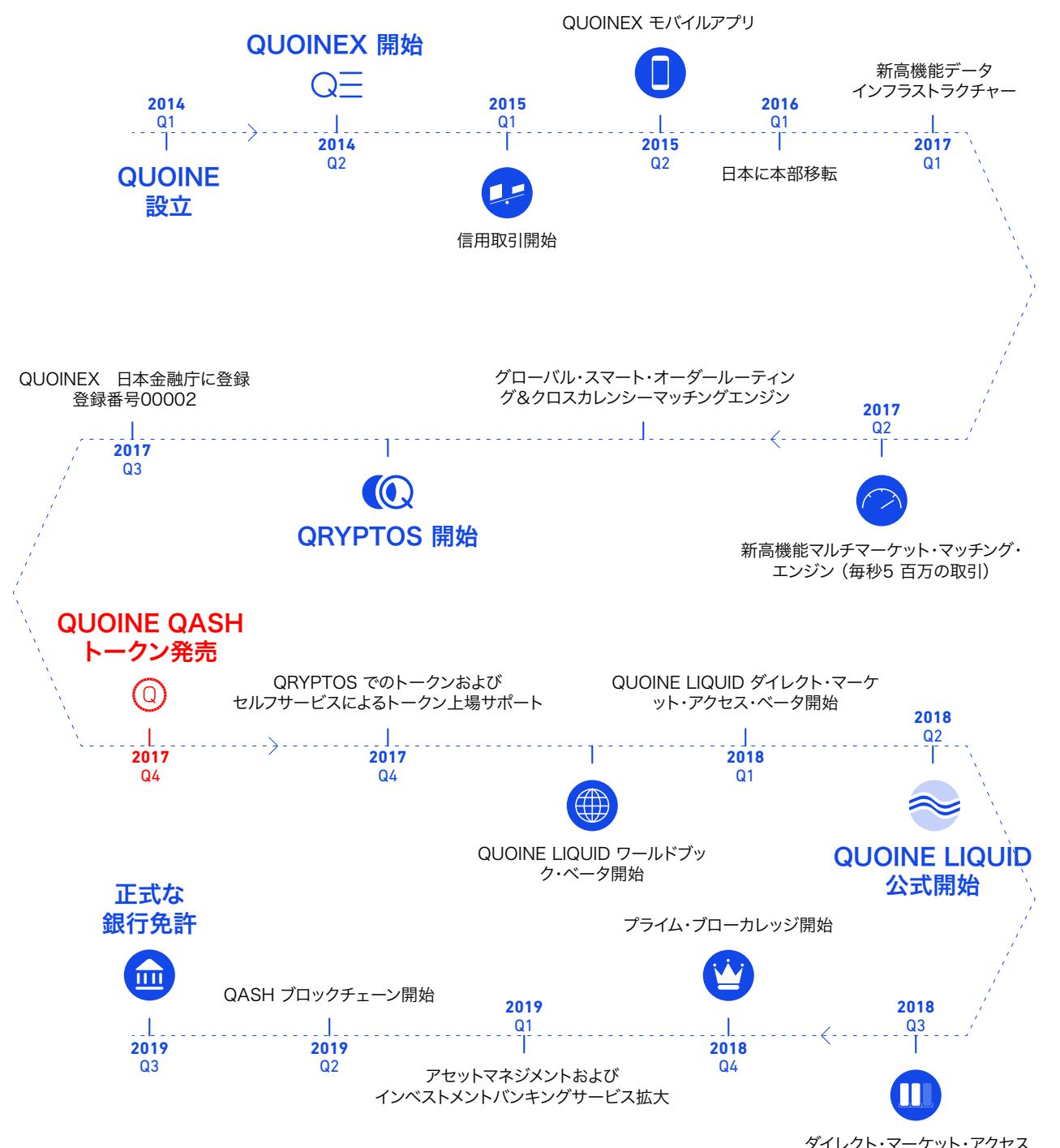
Based on QUOINE research of White Papers

08

## ロードマップ

QUOINEは、グローバル金融のユーティリティ、すなわち、クリプト経済全体にとって極めて利便性が高く、ユーザーおよびトークン保有者として誰もが参加できる先進的プラットフォームを構築していきます。

QUOINE LIQUIDは、やがてクリプト経済にとって完全な金融エコシステムとなるでしょう。当社のエキサイティングな旅に皆様を歓迎いたします。



# 09

## 当社について

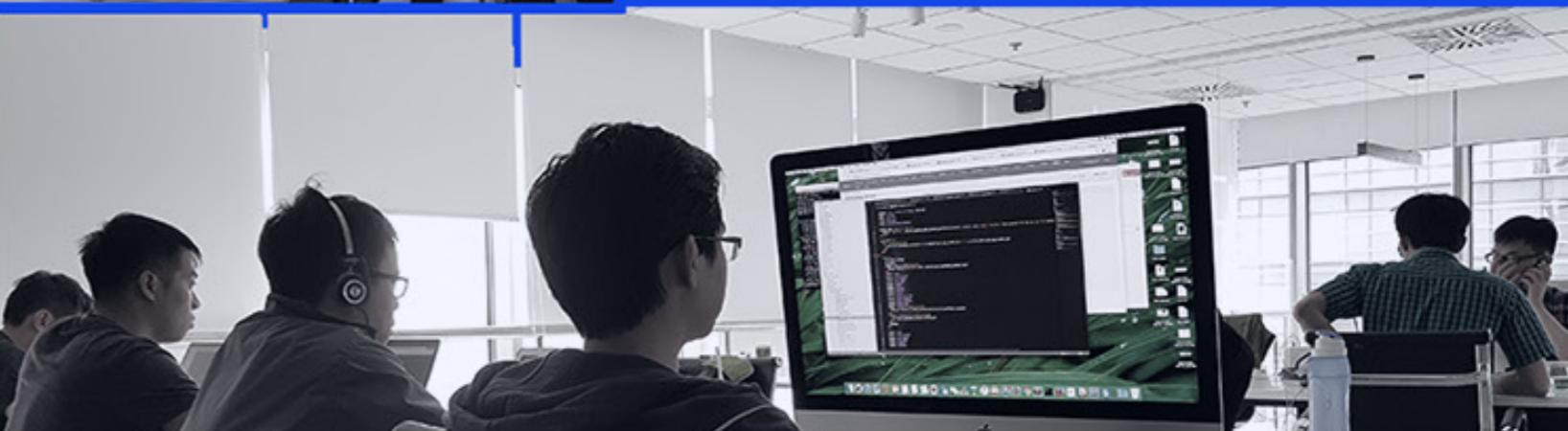
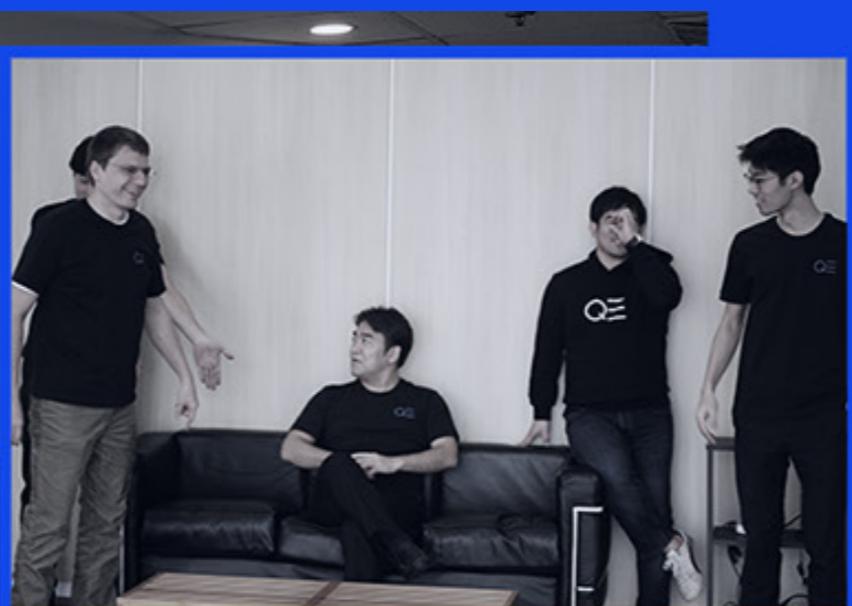
### 9.1 概要

当社は、累計で250年を超える金融とテクノロジーの総合的な経験を有する世界一流のチームを編成してきました。

当社のチームは、FXIT、FX取引、アルゴリズム、株式取引システムおよびFICC（債券、通貨、コモディ

ティ）において確かな実績を有しており、これらすべてが専門的なインターネット及びモバイルに関する技術と組み合わされています。

中でも注目に値するのは、当社が構築したQUOINEXです。QUOINEXとは、日本の金融庁に登録された世界最大の仮想通貨取引所の一つであり、世界中の規制市場の多くが要求する条件に完全に適合しています。





## Mike Kayamori

Co-Founder and CEO

ブロックチェーンとデジタル通貨の破壊的イノベーションにインスパイアされ、2014年にマリオ氏とQUOINEを共同設立。日本、米国、インドおよび東南アジアにおける投資、事業経営、ITならびにベンチャーキャピタルにおいて22年を超える経験を有しています。

QUOINE設立前は、ソフトバンクグループのシニアバイスプレジデントとして、シンガポールテレコムおよびバーティグループと共にソフトバンクグループのアジア営業および投資のマネジメントに従事。また、パズル&ドラゴンズの制作会社であるガンホーのアジアCIOも務めました。ソフトバンク以前は、運用資産総額が12億米ドルを超えるパロアルトに拠点があるベンチャーキャピタルファンド、グ

ローブスパン・キャピタル・パートナーズのシニアディレクターを務めました。

東京大学法学士およびハーバード・ビジネス・スクールMBAを保有しています。





## Mario Gomez-Lozada

**Co-Founder, President and CTO**

クレディ・スイス (CS) の日本CIOおよびアジア債券IT責任者を務めました。CSでは、アジアにおけるFICCビジネス拡大関連プロジェクトを統括。また、シンガポールのFICCグローバル・ディベロップメント・センターの設立責任者でもあります。

日本CIOとして、現地規制当局と綿密に関りながら、IT リスク管理責任者を務めました。  
CS以前は、日本におけるメリルリンチのCTOとして13年間のキャリアを築き、同行のFICCビジネスに関するIT分野全般を担当していました。

初期の取引の電子化の取り組みに積極的に関与し、最先端のトレーディングシステム用のソフトウェアを開発しました。



## Katsuya Konno CFO

ソフトバンクグループに約8年間勤務。ソフトバンク時代には、600億米ドルを超える数多くの大規模M&A案件及びベンチャー投資案件に関与。従事した案件には、スプリント（米携帯電話事業者）およびブライトスター（世界的携帯端末機器卸売業者）の取得や、クーパン（韓国最大手eコマースプラットフォーム）およびスナップディール（インド最大手eコマースプラットフォーム）への投資などがあります。

2011年から2013年にかけて、米国および東南アジアにおけるソフトバンクのベンチャーキャピタル部門設立を主導しました。また、資金調達案件も数多く手がけました。

その中には、ARMホールディングス・ピーエルシー（世界最大手のチップアーキテクチャ開発会社）の取得のための資金調達や、アリババ・グループ・ホールディングス・リミテッド（世界最大手のeコマース会社）により裏付けられた強制転換社債やハイブリッド債等の発行があります。





## Ray Hennessy

**Chief Strategy Officer**

IB技術、リスク管理、金融、経営コンサルタントおよび支払手段の分野において30年以上の経験を有しています。直近では、タイの21行の銀行による国家的な支払システムであるプロンプトペイの実施に従事しました。

シンガポール／マニラにおいて、KPMGマネジメントコンサルティング（フィリピン）のプレジデント／プリンシパルを務めました。ディレクターとしてドイツ銀行に5年以上勤め、フィリピン及びインド向けの金融ITを主導。香港においては、UBSインベストメント・バンクのエグゼクティブディレクター、IT責任者およびAPAC COOを務めました。

ニューヨークでは、モルガン・スタンレーのエグゼクティブディレクターとして、オペレーションズリスク、Sox法、コンプライアンスおよび監査に関連するITのグローバルチームを統率しました。

また、ディレクター兼CIOとして日本のメリルリンチに5年間勤務。それ以前は、ゴールドマンサックス（ニューヨーク／ロンドン）に10年間勤務し、エクイティ部門のバイスプレジデントを務めました。





## Andre Pemmelaar

**Chief Trading Officer**

QUOINEX

仮想通貨のマーケット・メイキングの世界におけるAIの実用化について幅広い実務経験を有しています。低遅延かつ高性能の自動取引システムの設計および実施において15年以上の経験を有しています。

2年半勤めたシンプルクスでは、AIによるマーケット・メイキング・アルゴリズムの開発に最前線で尽力。

アンドレ氏のFX価格設定アルゴリズムは、日本におけるリテールFX取引全体のうち20-30%で利用されています。

同氏のアルゴリズムは、現在でもFXマーケット・メイキング・システムの運用のためにシンプルクスのFXディーラーにより最も多く選ばれています。

取引高最大の民間ノンバンクJGBオプションマーケット・メイカーであるScotty D. Group (SDG) のシステムティック・トレーディング責任者として6年間勤務。SDG以前は、シカゴに拠点があるマーケット・メイキング・グループであるキャピタル・マーケッツ・トレーディングにおいて、グローバルな株式統計的アービトラージブックを管理しました。





## Ken Mazzio

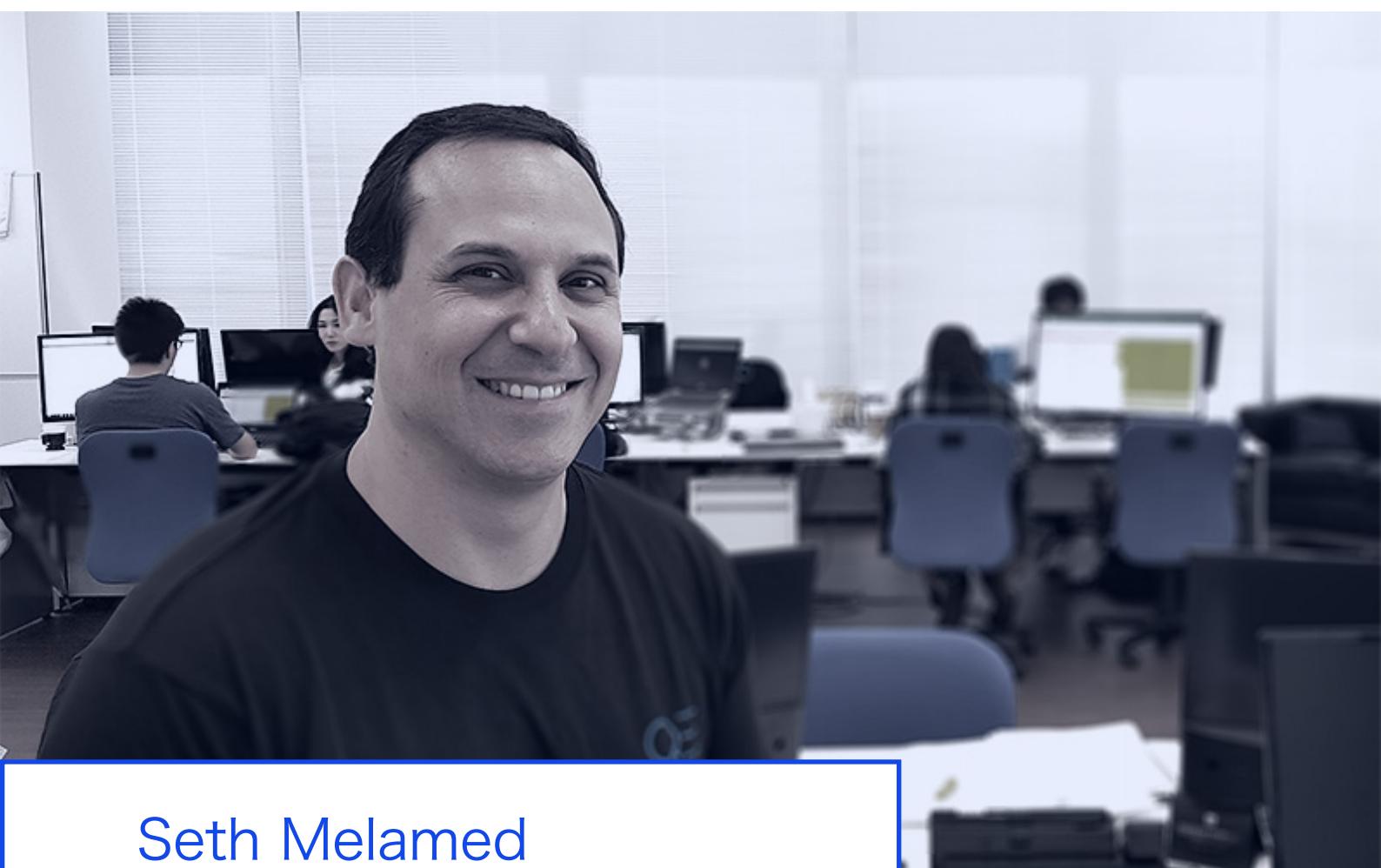
**Chief Compliance & Information  
Security Officer**

テクノロジー、情報セキュリティ、サイバーセキュリティ、ITリスク管理、運用リスク管理、監査およびコンプライアンス分野において約30年の経験を有しています。

シンガポールではバークレイズ銀行のディレクター、APAC監査責任者を務め、テクノロジー部門および同行の大改革を担当。シンガポール金融管理局その他の規制当局の規制要件を遵守するためのガバナンス、管理体制、方針および手順の改善を目的とした大手銀行用プログラムの設計、実施ならびに管理を行いました。

東京および香港を拠点とし、メリルリンチ（ML）に12年間勤務。情報セキュリティのアジア責任者を務めた後、ディレクター、技術責任者および監査役を歴任し、ML初の全事業ライン向けグローバル情報セキュリティおよびプライバシープログラムの構築に携わり、そのアジア全域における実施および管理の責任者を務めました。





## Seth Melamed

**SVP of Operations**

セスは、ゴールドマン・サックス (GS) にて、ニューヨーク、東京、モスクワ、ソルトレイクシティの各地で10年超にわたり投資銀行業務を経験しました。

エクイティ・デリバティブ・セトルメント・アメリカの社長を務め、米国の法人顧客に複雑なデリバティブ決済サービスを提供しました。同職の前は、ロシアのGSで財務・流動性業務を管理し、投資銀行向けの支払・現金管理の分野で専門知識を習得しました。

日本およびアジアでは、GSのアジア・デリバティブ・プライム・プローカレッジ業務を統括し、顧客基盤の拡大に成功しました。

CLS (多通貨同時決済) の実現をはじめとして、CLSおよびSWIFT関連の取組みにも関与しました。GSの支払サブ・コミッティの一員として、支払安全性の向上と詐欺対策、GSのグローバル支払方針の策定にも取り組みました。





## Katherine Ng

### Head of Marketing

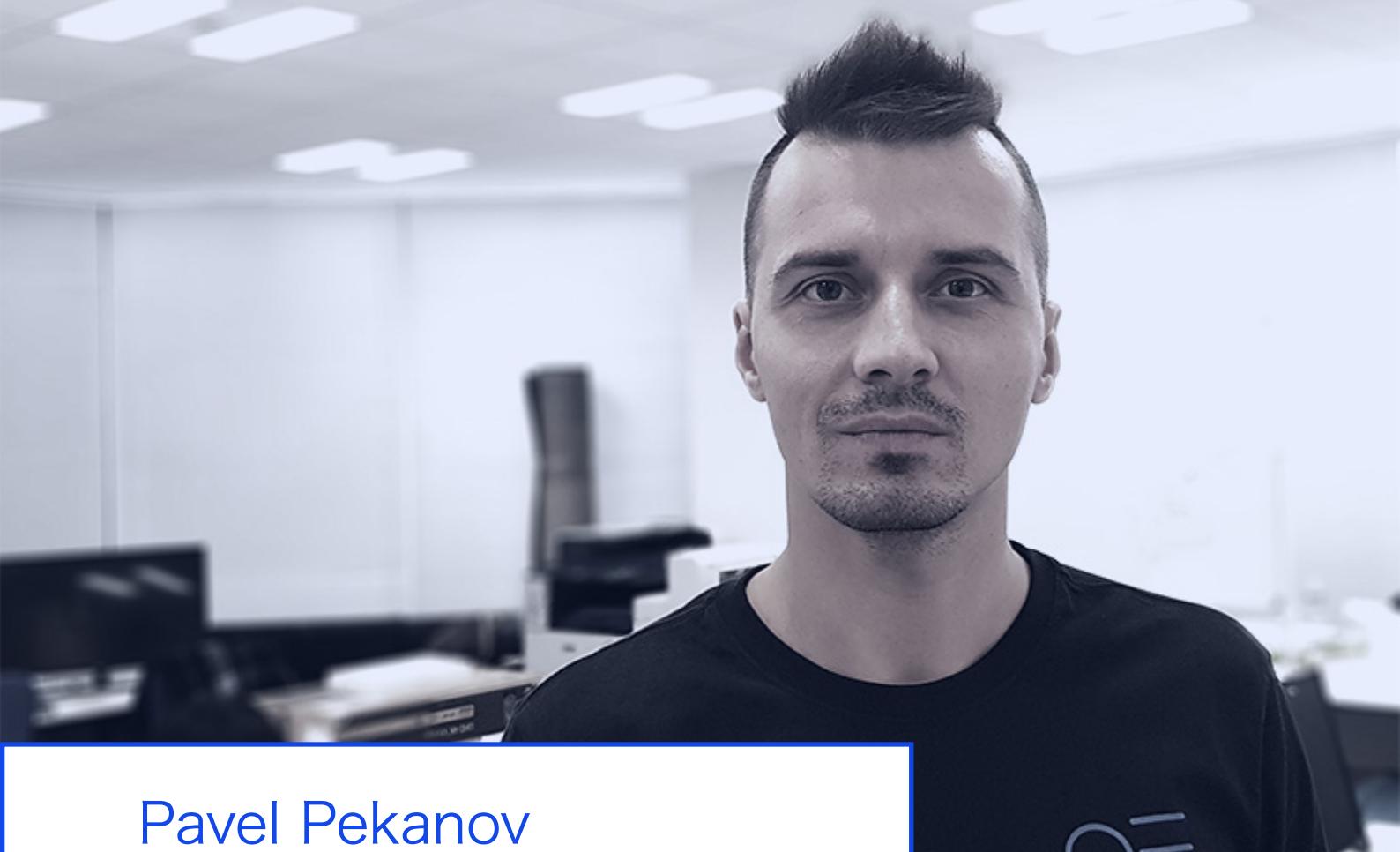
キャサリン・ウンは、QUOINEのマーケティング統括者です。Luxola Indonesia (Sephora-LVMHが買収) ではコマーシャル・ディレクターを務め、電子メール、オンライン、ソーシャルメディア、有料広告およびパートナーシップにより収益を促進するデータ駆動型デジタル・マーケティング・チャネルの分野でコマーシャル業務を主導しました。

それ以前は、インドネシアのGrabTaxi and GrabCar（現在は東南アジア最大の配車アプリ会社であるGrabとして知られています。）でマーケティング部門を統括しました。マーケティング・チームの構築と先導を担当し、同社が最初の四半期で乗車量を3倍超引き上げることに貢献しました。

Grabに入社する前は、エアアジア（アジア最大の格安航空会社）のCEOオフィスに4年間勤務し、コマーシャル業務、法人戦略、方針策定およびプロセス改善の分野でエアアジア・グループの特別プロジェクトの管理にあたりました。

最初の職は、ECMリブラン・インベストメント・バンクの投資銀行アナリストでした。





## Pavel Pekanov

Creative Director

パヴェルは、2013年から2015年にかけて、AI（人工知能）、ML（機械学習）、ソーシャル・ネットワーキング、データサービスおよびメッセージングの分野で複数の新興企業を設立しました。

それ以前は、2008年からフリーランス・クリエイティブ・プラクティスを実践し、世界中の顧客がIT製品、ウェブサイトおよびアプリを発売することを支援しました。

2014年には、新規事業のクリエイティブ・ディレクター／アート・ディレクターを務める傍ら、プライベート・エンジェル投資家事業を立ち上げ、新興企業が資金と経験を得る支援をしました。

IT専門家となる前は、伝統的なデザイナーおよび演奏家として、インスタレーションアート、絵画、イラストおよび音楽活動を行っていました。



# 10

取締役、エンジニア投資家  
及び、株主

**田中 正明**

QUOINE 取締役

シニア・グローバル・アドバイザー  
プライスウォーターハウスクーパース・インターナショナル

元取締役  
モルガン・スタンレー

元代表取締役副社長  
三菱UFJフィナンシャル・グループ

参与  
金融庁

**大蘿 淳司**

QUOINE 取締役

代表取締役、チーフ・グロース・オフィサー  
Mistletoe株式会社

元マーケティング本部長  
ヤフー株式会社

海外事業戦略室 元室長  
ソフトバンクグループ株式会社

**井坂 省三**

QUOINE 取締役

投資グループリーダー  
株式会社ジャフコ



ポール・クオ

QUOINE投資家

元会長  
国際銀行協会元取締役  
株式会社東京証券取引所

コー・ブーン・フィー

QUOINE投資家

元会長  
シンガポール・テレコム・グループ元会長  
シンガポール開発銀行

デビッド・カツツ

QUOINE投資家

元国際管理関係部長  
ペイパル

元アメリカ合衆国大統領行政府所属

元副社長  
Visa

元アメリカ合衆国国務省外交官



宮澤 弦

QUOINE投資家

上級執行役員、メディアグループ長  
ヤフー株式会社

安武 弘晃

QUOINE投資家

元取締役常務執行役員 (CTO)  
楽天株式会社

村上 臣

QUOINE投資家

執行役員、チーフモバイルオフィサー  
ヤフー株式会社



## B DASH VENTURES



MISTLETOE



Digital Garage



11

QUOINE LIQUIDコミュニティ  
に参加しましょう

QUOINEの物語は、共同設立者であるマイク・柏森とマリオ・ゴメス・ロザーダが2013年に出会い、仮想通貨市場の流動性を高めるためにビットコイン取引所を設立することについて話し合った時に始まりました。このアイデアが発展して、全機能型の取引プラットフォームおよび法定通貨と仮想通貨の取引所であるQUOINEXが誕生し、2014年にサービスを開始しました。

QUOINEは、設立当初より、仮想通貨市場は、世界規模での金融包摂 (financial inclusion) を可能にするものと考えています。

**我々のミッションは、仮想通貨市場を通じて、世界中で次世代金融サービスを利用できるようすることです。**

当社は、新たな仮想通貨経済の中で、主要なアルトコインを取引可能な仮想通貨専用取引所であるQRYPOTOSを通じて、2017年も市場流動性の確保と効率的な価格発見機能を実現しています。

今回、当社は、ワールドブック、プライムブローカレッジ等のサービスを提供するプラットフォームであるQUOINE LIQUIDを立ち上げます。当社は、会社設立以来、初めて、QUOINE LIQUIDのプラットフォームとそのロードマップを世界中に提供します。

QUOINEコミュニティに参加して、当社のビジネスモデルや製品へのご意見をお聞かせください。そして、私達と共にQASHトークンセールに参加されますよう、お願い申し上げます。

**QUOINE LIQUIDを通じて、金融サービスの次なる革命に参加しましょう。**

# 12

## 参考情報

## 12.1 QUOINEの企業概要

QUOINEは、ブロックチェーン技術を用いたトレーディング、エクスチェンジ及び次世代金融サービスを提供する世界的な大手フィンテック企業です。当社は、仮想通貨とブロックチェーン技術が金融サービスの未来を形作るものと考えています。当社は、すべての人が金融サービスを利用できるようにするというミッションを果たすことを目的とする真のフィンテック企業でもあります。

QUOINEは、日本、シンガポールおよびベトナムにオフィスを置き、各地のパートナーの強固なネットワークと、チームの銀行業及び金融商品に関する幅広い経験とを結び付けることで、すべての顧客に対して最高レベルの金融サービスを提供することを目指しています。

QUOINEは、2014年6月にQUOINE Exchange（現在はQUOINEXとして知られています。）を立ち上げ、同取引所は取引高で世界最大のビットコイン取引所のひとつとなりました。QUOINEは、個人顧客と法人顧客双方に対して、便利な取引機能、高度なユーザーダッシュボード、そして確実に規制を遵守したサービスを提供しています。

QUOINEは、ビットコインと、日本円、米ドル、中国人民元、ユーロ、香港ドル、インドネシアルピア、シンガポールドル、フィリピンペソ、インドルピーおよびオーストラリアドルといった法定通貨との取引サービスを提供しています。QUOINEXの取引高は、過去2年間で120億米ドルを超えました。QUOINEXに関する詳しい情報は、[www.quoinex.com](http://www.quoinex.com)をご参照ください。

2016年において、QUOINEは投資家より2000万米ドルを調達しました。

2017年6月、QUOINEは仮想通貨専用の新たな取引所であり、トレーディングプラットフォームでもあるQRYPTOSを立ち上げました。QRYPTOSは、現在はベータデスクトップ版として[www.qryptos.com](http://www.qryptos.com)で公開されています。

## 12.2 QUOINEの連絡先

### 住所

シンガポール共和国: 068898 シンガポール市 ロビンソン通り80 ラティス80 08-01  
Singapore: 08-01, Lattice80, 80 Robinson Road, Singapore 068898

### QUOINE

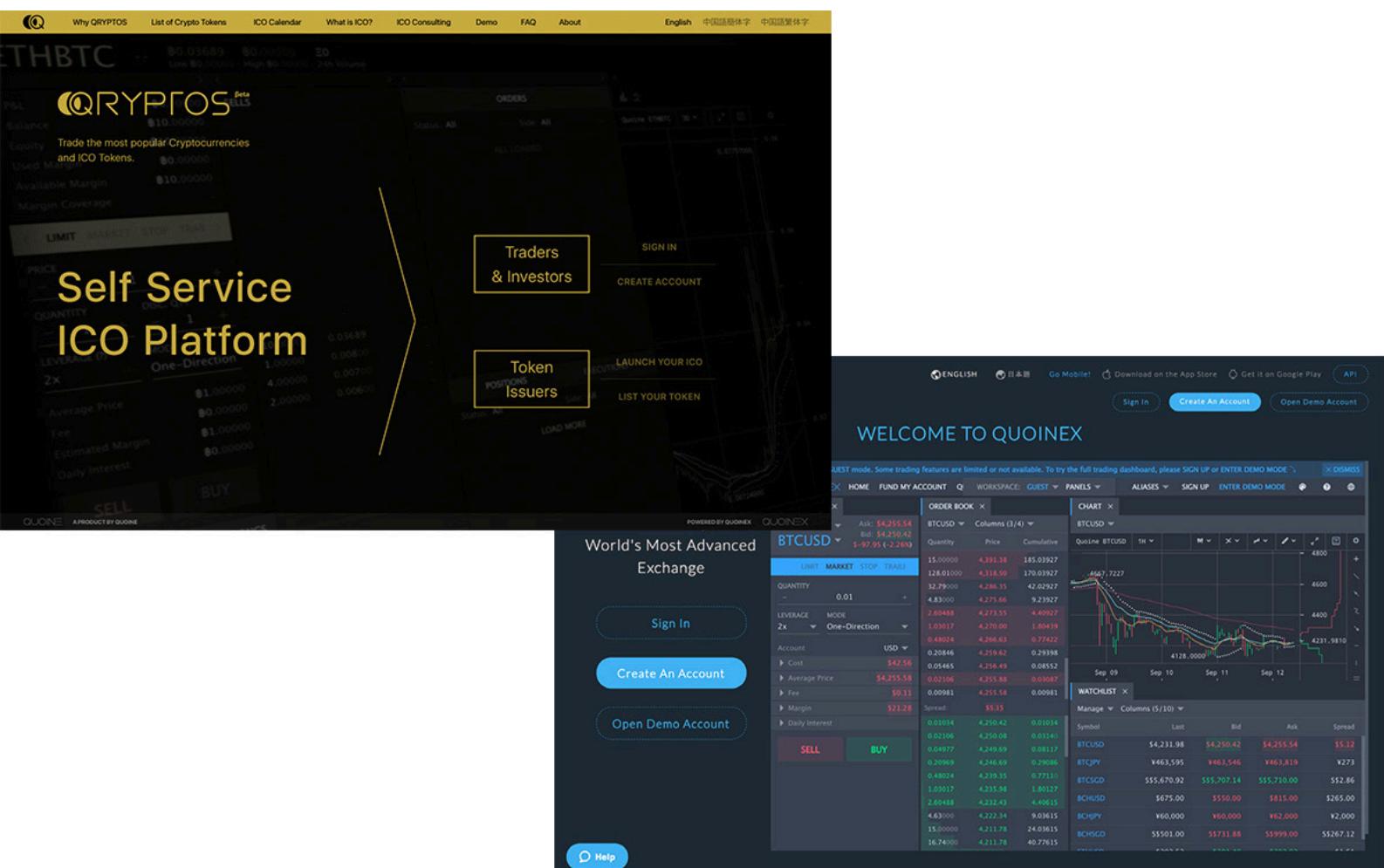
<https://quoine.com>

### QUOINEX

<https://quoinex.com>

### QRYPTOS

<https://qryptos.com>



**ウェブサイト**

<http://liquid.plus>

**Telegram**

[t.me/QUOINE](https://t.me/QUOINE)

**Twitter**

[https://twitter.com/quoine\\_SG](https://twitter.com/quoine_SG)

**Facebook**

<https://facebook.com/QUOINE.SG/>

**LinkedIn**

<https://www.linkedin.com/company/quoine>

**Reddit**

<https://www.reddit.com/r/QASH/>

**Steemit**

<https://steemit.com/@quoineliquid>

**YouTube**

[https://www.youtube.com/channel/UCOR2GJnFoOgTazC5v6mBTSA/featured?disable\\_polymer=1](https://www.youtube.com/channel/UCOR2GJnFoOgTazC5v6mBTSA/featured?disable_polymer=1)

**Eメール**

[support@quoine.com](mailto:support@quoine.com)